

平成28年度 松本市 小中学校 環境教育支援事業 報告書



鎌田小学校「緑のカーテン」



美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本

松本市小中学校環境教育支援事業について

1 この事業について

学校内における環境教育の推進を図るために、専門性を有する企業・団体・個人が講師として実施できる環境教育プログラムを紹介し、環境学習の授業に活用していただくことで、学校内における環境教育の一層の推進を図るものです。

松本市教育委員会（教育政策課、学校教育課、学校指導課、生涯学習課）、松本市（環境政策課）、民間（中信地区環境教育ネットワーク）の3者による協働事業として、平成22年度から実施しています。

2 経過

- (1) 平成28年4月 8日 松本市小中学校校長会へ案件提出
- (2) 平成28年4月14日 松本市小中学校教頭会へ内容説明
各校に事業メニューの提示と希望調査
- (3) 平成28年5月11日までに12校から実施希望、問合せあり
- (4) 平成28年5月以降、順次事業実施
- (5) 平成28年9月 事業に係る費用を中信地区環境教育ネットワークが負担する「おためしプログラム」について、校長会、教頭会へ周知、事業を実施。2校2プログラムの申込みあり。

3 実施状況（平成28年3月1日現在）

- (1) 実施校 17校（小学校16校 中学校1校）
- (2) 実施人数 1,985名（小学生1,846名 中学生139名）
- (3) 実施事業 33事業（19メニュー）
- (4) 実施団体 19団体（16団体 3企業）

4 報告書構成

- | | |
|-----------------------------|---------|
| (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 | 1～66 頁 |
| (2) 松本市小中学校環境教育支援事業 講師コメント | 67～69 頁 |
| (3) 松本市小中学校環境教育支援事業 学習プログラム | 70～93 頁 |
| (4) 信州の環境学習サポートサイト 紹介 | 94 頁 |

平成28年度 小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

番号	学校名	講座番号、名称	講師	実施学年、クラス	人数	実施日	頁番号
1	田川小	2 水辺でネイチャーゲーム	特定非営利活動法人わおん	2年	51	10月27日	1～2
2	波田小	3 梓川リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	6年4組	29	9月6日	3～4
3	二子小	4 ぬかくどご飯炊き体験	NPO安曇野ふるさとづくり応援団	3年1組 2組	44	10月28日	5～6
4	会田中	4 ぬかくどご飯炊き体験	NPO安曇野ふるさとづくり応援団 自然エネルギーネット松本 四賀林研	3年1組	26	10月27日	7～8
5	菅野小	5 いきもの探しと観察	いきものみつけファームin松本推進協議会	3年	99	7月7日	9～10
6	奈川小	6 ツキノワグマの生態を知ろう【おためしプログラム】	NPO法人 信州ツキノワグマ研究会 信州大学農学部	1～6年	24	11月24日	11～12
7	田川小	7 水辺の生物の観察会	川の自然と文化研究所(NPO)	2年1組 2組	49	6月22日	13～14
8	信大 附属小	7 水辺の生物の観察会	川の自然と文化研究所(NPO)	1年東組	37	9月28日	15～16
9	田川小	8 水ってなあに？	株式会社 環境技術センター	2年	51	2月22日	17～18
10	鎌田小	9 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり	エコネットまつもと	6年2組 4組	58	12月6日	19～20
11	会田中	10 マイ箸づくり	寿飽の会	1年1組	20	10月28日	21～22
12	鎌田小	10 11 マイ箸づくりと袋縫い	寿飽の会 松本市ボランティアセンター	6年1組 4組	58	7月13日	23～24
13	安曇小	12 あかりのエコ教室【おためしプログラム】	パナソニック株式会社	5年、6年	12	12月15日	25～26
14	中山小	13 生ごみ処理機を使用した堆肥作り	株式会社 キクイチ	4年	17	6月10日～ 10月24日	27～28
15	鎌田小	14 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	6年3組 4組 5組	86	11月17日	29～30
16	二子小	14 木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	4年1組 2組	55	10月28日	31～32
17	島立小	14 木の授業と鉛筆立て制作	寿さと山くらぶ	3年2クラス	66	10月5日	33～34

番号	学校名	講座番号、名称	講師	実施学年、クラス	人数	実施日	頁番号
18	二子小	15 木材の活用法	松本市林業士会	特別支援学級 2年～6年	6	7月26日	35～36
19	会田中	間伐学習	四賀林研	2年	35	9月2日	37～38
20	会田中	15 木材の活用法	松本市林業士会	2年	35	10月21日 11月22日	39～40
21	菅野小	15 木材の活用法	松本市林業士会	4年4クラス	113	11月8日、9日	41～42
22	鎌田小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年5クラス 特別支援 3クラス 4年1クラス	219	5月23日	43～44
23	源池小	16 緑のカーテン設置指導 「緑のカーテンのはたらきと地球温暖化」	松本市緑化協会	4年1組 2組	51	6月7日	45～46
24	本郷小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	2年	44	5月25日	47～48
25	島内小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年 2年	216	5月23日	49～50
26	田川小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年	45	5月31日	51～52
27	中山小	16 緑のカーテン設置指導 「グリーンカーテンで夏も涼しく」	松本市緑化協会	2年1組	17	5月18日	53～54
28	芳川小	16 緑のカーテン設置指導 『「緑のカーテン」を作ろう』	松本市緑化協会	4年4クラス	114	7月8日	55～56
29	今井小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年、2年	57	5月20日	57～58
30	四賀小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	4、5、6年	73	5月19日	59～60
31	菅野小	16 緑のカーテン設置指導	松本市緑化協会	1年3クラス	98	5月27日	61～62
32	今井小	17 身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ	1年1組 2年1組	57	10月27日	63～64
33	会田中	19 体感プログラムを中心とした自然体験学習 「火おこし体験」	信州やがいたいけん楽校ぶらす	1年1組	23	7月22日	65～66
計	17校	19種類	16団体 3企業	1,985人 (小学校1,846人、中学校139人)			

※内「おためしプログラム」については、2種類のプログラムが実施されました。

<p>授 業 名</p>	<p>水辺でネイチャーゲーム</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立田川小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>2年1組25人 2組26人 計51人</p>
<p>担当者</p>	<p>渡邊 貴之 稲田 祐美</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年10月27日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>特定非営利活動法人わおん</p>
<p>実施概要</p>	<p>①学校の近くの田川で、ネイチャービンゴをし、植物を探したり、水の音を聞いたりする。</p> <p>②①で見つけた植物をルーペで見たり万華鏡に入れたりして、色や形のおもしろさを楽しむ。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>①田川に移動して、今日やることを聞きました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>②どんな花や石があるかな。細かく見ていくと、いろいろ楽しい自然の物があるよ。</p> </div> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



③川の音はどんな音かな。場所によって違うのは、なぜだろう。

④花びらや葉っぱを万華鏡で見ると、こんなにきれいな模様になるんだね。



記入者

稲田 祐美





授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・赤いものは川のそばにないと思っていたけど、よく見ると小さな赤い花がいろいろあった。
- ・葉っぱは緑色ばかりだと思っていたけど、赤い模様がついている葉があった。
- ・川がザーザーいうところは、石にぶつかっているところだった。石がないところは、音がちがう。
- ・鳥が鳴いていて、気持ちよかった。
- ・花びらを3種類くらい入れると万華鏡の模様がきれいだった。

2 先生方の感想、要望等

- ・「水の生物の観察会」を受けて、「川の中ではなく、川原の自然物に意識を向けさせたい」という担任の意図を汲んで、コーディネーターの方に「わおん」を紹介していただいた。打ち合わせにも同席して橋渡しをしていただき、具体的な活動のイメージをもって計画を立てることができた。
- ・初めて利用したが、楽しく学習できた。低学年の子どもに無理のない活動で、発見や驚きがあり、安全に実施できた。
- ・ネイチャービンゴは、生活科の春探しなど、違う場面でも工夫して使えそうだった。

<p>授 業 名</p>	<p>梓川リバーアドベンチャー</p>		
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立波田小学校</p>		
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>6年4組 参加人数29名</p>		
<p>担当者</p>	<p>担任 中村 浩視</p>		
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年9月6日（火）</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス</p>		
<p>実施概要</p>	<p>ふるさとの自然をもっと身近に感じ、よさを実感するために「梓川リバーアドベンチャー」を体験した。 [梓川リバーアドベンチャー内容] ①川の安全講習 ②川に飛び込もう！ ③レスキュー体験 ④ぶかぶか川の流れにのってみよう！ ⑤浅瀬横断 ⑥リバースイム ⑦梓川の生き物観察</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	 <p>②飛び込みはお腹から！！ 度胸を決めてバシャーン！！</p>	 <p>③綱を背負う感じで引っ張ってもらおう！</p>	
	 <p>⑤先頭の人に合わせて「1・2・1・2！」 「流れが強い～！」声をかけて向こう岸まで頑張ろう！</p>	 <p>④⑥「流れていって気持ちいい～！！」</p>	

実施状況
(授業風景)



全員ウェットスーツ、靴、ヘルメット着用で安全面も学びました。
体力と気力の要った体験でしたが、全身体験し終えて満足の笑みで終了しました。

記入者

中村 浩視

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

昨年度に引き続きの活動で、子どもたちから昨年度悪天候のため出来なかった内容を絶対に体験したいという強い意欲で実施した。学習の続きであったため、「川の怖さ」「自然の脅威」は認識してきている上で、講師の先生の指示や話をしっかり聞いて活動するというルールをしっかり守り、全力で「梓川を楽しめた」ことは、自分達にとってかけがえのない宝となった。～「飛び込み」は度胸と勇気が要りました。「レスキュー体験」は相手を思ったり気づかたりすることを学びました。「ぷかぷか」は川の流れが気持ちよさに感動！しました。「浅瀬横断」は仲間意識がないと命に関わることがわかりました。「リバースイム」は川の流れを意識しないと流されてしまうことを実感し、体力を使いました。「梓川の生き物」では、ゲンゴロウを発見したり稚魚を見つけたり、清流である証を見つけ、これからも梓川の自然を大切にしたいという思いを感じました。

2 先生方の感想、要望等

昨年度に引き続き活動でき、子どもたちにとってこんなに満足する体験をさせて頂けたことに大変感謝している。ふるさとにある清流が、この体験を通して自分の身近なものと感じ、この自然をこれからも大切にしていきたいという思いを心に刻めたことが大変嬉しい。また、活動内容自体が大変貴重であり、子どもたちの心にかけてかけがえのないものとなって残ると共に、ふるさと波田を好きでいる思いを残せた内容に思う。

<p>授 業 名</p>	<p>ぬかくどご飯炊き体験</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立二子小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>3年1組22名 3年2組22名</p>
<p>担当者</p>	<p>尼崎 千佳 田中久美子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年10月28日（金）</p>
<p>講師名</p>	<p>NPO安曇野ふるさとづくり応援団</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぬかくど釜について使い方の説明を聞き、ご飯が炊ける様子を見学した。 ・稲の育て方やぬかくど釜を使ってお米を炊いた昔の様子を紙芝居で理解を深めた。 ・炊けたご飯を自分でにぎり、試食した。
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ぬかくどがまは、こんな形</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>お米作りの話を聞きました</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>使い方を聞きました</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>ごはんがたけた。おいしそう。</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



じょうずに丸くにぎれたよ。



うまく四角に切れるかな。

記 入 者

田中 久美子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・昔の道具の名前がわかったし、自分でおにぎりが作れてうれしかったです。
- ・ぬかくどがまは、ほかの物がもえなくてすんで、家の中でもできるごはんたきができるなんてすごと思いました。
- ・お米の育て方やおかまを使ったたき方がわかって、よかったです。おにぎりがすごくあまくておいしかったです。

2 先生方の感想、要望等

祖父母・父母の年齢層が若かったり住宅や団地住まいの核家族が多い地区だったりすることで、家に昔の道具がなく社会科「昔と今のくらしのうつりかわり」の学習に不便を感じていたので、こうした実物を拝見できたり昔話を直接聞いたりしたことは、学習への理解や関心がより深まりました。

また、炊き上がったご飯でおにぎりを作る際は、子どもが握りやすいように補助道具（お茶碗）を用意してくださり、喜んで自分のおにぎりを握る姿が多く、ありがたかったです。おみやげのおにぎりをとても大事そうに持ち歩いている姿が、とても印象的でした。

授 業 名	ぬかくどご飯炊き体験
実施学校名	松本市立会田中学校
実施学年、学級 参加人数	3年1組 26名
担当者	担任 山崎博之
実施日（期間）	平成28年10月27日（木）
講師名	NPO安曇野ふるさとづくり応援団 自然エネルギーネット松本・四賀林研
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> 四賀で収穫されたお米を使い、“ぬかくど”を使ってご飯を炊き、それをおにぎりにして食べた。米ときは生徒によって行った。また、四賀で捕獲された鹿の肉を網焼きして食べた。自分の学校の敷地内で、地元になんだ食材を使って、先人の知恵の素晴らしさや、自然や命の大切さを学習できた。
実施状況 (授業風景)	  <p>ぬかくどの釜と、鹿肉のバーベキューです。</p>  <p>ぬかくどで炊いたご飯をおにぎりにして、焼いたシカ肉と一緒にいただきました。</p>

<p>授業について</p>	<p>記 入 者</p>	<p>山崎 博之</p>
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>ぬかくどを使った方法は一昔前に行われていたご飯の炊き方で、生徒は実際に経験したことのない行い方だったので、貴重な体験になりました。時間と手間がかかるやり方を実演することで、昔の人たちの炊事の大変さと、今の便利な生活のありがたさを感じたようです。また、炊きあがったご飯のおいしさから、この炊き方の優れた点と、地元の食材の素晴らしさも実感していました。</p> <p>今回は鹿肉も提供していただき、その食感を味わうことができました。行う前はシカ肉に抵抗があった生徒もいましたが、焼き上がった肉をどんどん食べる姿から、シカ肉のおいしさを感じた様子が覗えました。鹿は、各所で農作物に被害を与えているのが現状ですが、今回の学習を通じて、命をいただいて人間は生きているということ学ぶことができました。</p> <p>鹿だけでなく、米も同じであり、自然の恵みをいただいて人は生きることができるということを実感できたと思います。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>講師の方々のご厚意により、食材を無償で提供していただき、低コストで実習を行うことができました。また、炊きあがる間、紙芝居を見せていただき、ぬかくどの歴史についても学ぶことができました。時間を上手に使って、内容の濃い2時間を計画していただき、感謝いたします。要望としては、同様の体験を今後も行っていただきたいということです。大変お世話になりました。ありがとうございました。</p>	

<p>授 業 名</p>	<p>いきもの探しと観察</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立菅野小学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>3 学年 3 学級 参加人数 99名</p>	
<p>担当者</p>	<p>土屋 萌</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年7月7日（木）</p>	
<p>講師名</p>	<p>いきものみつけファーム in 松本推進協議会</p>	
<p>実施概要</p>	<p>理科「こん虫のからだを調べよう」及び総合的な学習の時間「菅野の自然となかよしになろう」の単元として実施。 スカイパークにて3人の講師より下記のテーマで生き物探しと観察を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「ネイチャーゲーム」（公園の中にある生き物や植物探し） ②「水辺の生き物」（スカイパーク内の水辺の生き物探し） ②「草むらの生き物」（滑走路わきの草むらでの昆虫探し） 	
<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>「ネイチャーゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の中にある生き物や植物を探しました。 <p>「いろいろいるね。」 「これはなんだろう。」</p>
		<p>「水辺の生き物」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スカイパーク内の水辺で生き物探しをしました。 <p>「何がいるのかな。」</p>

実施状況
(授業風景)



「草むらの生き物」

- ・滑走路わきの草むらで昆虫を探しました。

「逃げてしまう。」
「こっちにいるぞ。」



「みんなで観察」

- ・探した生き物を持ち寄ってみんなで観察しました。

「いろいろいるね。」
「名前は何だろう。」

記入者

土屋 萌




授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・「ネイチャーゲーム」では、公園の中で見つけられる生き物や植物の中で、「気持ちいいもの」「かわいいもの」など、自分のお気に入りを探した。「きれいなもの＝景色」という発想も出て、講師の先生をうならせていた。
- ・「水辺の生き物」では、スカイパーク内の水辺の生き物をたもあみを使って特別につかまえて観察。20分ほどでいくつも見つけてきて、講師の先生にその名前を教えてもらい、「これがそうか」と図鑑等で得ていた知識と結びつけていた。
- ・「草むらの生き物」では、「獲物だ!」と叫んでモンシロチョウを集団で追いかけるなど、元気いっぱいを探す姿がみられた。ショウリョウバッタやベニシジミなどを見つけ、その名を講師の先生に教えてもらってうれしそうだった。

2 先生方の感想、要望等

- ・子どもたちがいきいきと生き物探しに興じる姿がとても印象的だった。学校の授業の中ではこうした体験的な学びをつくるのがなかなか難しいので、専門の先生にかかわっていただき大変ありがたかった。
- ・学校の近くにスカイパークがあるので、今後もこの事業を活用して自然とふれあう時間をつくっていきたい。

授 業 名	ツキノワグマの生態を知ろう
実施学校名	松本市立奈川小学校
実施学年、学級 参加人数	1～6年 24名
担当者	教頭 小野沢伸二
実施日（期間）	平成28年11月24日（木）
講師名	NPO法人 信州ツキノワグマ研究会 浜口あかり 信州大学農学部 中田早紀
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな動物の写真を見ながらの動物クイズ ・ツキノワグマの生態や体のつくりなどについてスライドや頭骨・糞などを使ってのお話 ・クマの着ぐるみを着た講師学生を相手に、クマに遭遇した場合の対処の仕方についての実技演習
実施状況 (授業風景)	<p>「ツキノワグマってこんな生きものなんだよ。」</p>   

実施状況
(授業風景)

「着ぐるみのクマを使って、
もし出会ったらどうしたらいいかを実演。」



「クマの頭骨・糞・毛皮など実物を見させていただきました。」



記 入 者

教頭 小野沢伸二

授業について



1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・クマは怖いイメージだったけど、実は気が小さくてビビリだということがわかってかわいいなと思った。
- ・クマに出会わないように鈴を鳴らしたりして、もし出会ってしまったらゆっくりと後ずさりをして逃げることがわかりました。

2 先生方の感想、要望等

- ・クマを実際に見たことがある子が全体の3分の2ほどいたことに驚いたが、それだけ身近なクマのことがいろいろな角度から知れていい学習になった。
- ・着ぐるみを着た実演や頭骨・糞など実物を見たり触ったりできたことなど、どの子にもわかりやすいように工夫されていて、子ども達も興味を持って話を聞くことができた。

授 業 名	水辺の生物の観察会
実施学校名	松本市立田川小学校
実施学年、学級 参加人数	2年1組25人 2組24人 計49人
担当者	渡邊 貴之 稲田 祐美
実施日（期間）	平成28年6月22日（水）
講師名	川の自然と文化研究会（NPO）
実施概要	<p>①奈良井川脇の湧水（松島橋北側付近）に行って水中生物を探す。 ②学校に戻り、捕まえた水中生物をルーペ等で観察する。 ③水中生物の記録の書き方を講師から習い、絵と文で記録する。</p>
実施状況 （授業風景）	<p>①去年も同じ場所で「川の生き物さがし」をしました。虫が怖かったり、泥が気持ち悪かったりして川に入れなかった子たちも、今年はみんな川に入って時間を少し延ばすほど、熱中して探しました。</p>   <p>前日までに川岸の草を刈って、安全に観察できるように準備しました。 水温14.3度。この日、ヨコエビ・トビケラ・ヒラタカゲロウなど、10種類見つけました。そのうち、ヤマメをつかまえた時は、子どもたちは大興奮でした。</p> <p>②「これなあに」「これは、ヒゲナガカワトビケラだよ。」というように、捕ったらすぐに名前を教えてくれるNPOの存在が、とても大きかったです。「これとは、ちがう？」「次は、これ探そう。」と、夢中になって活動する要因になっていました。</p> 

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>③初めて使うピンセットにドキドキ。ルーペにワクワク。</p>  <p>④がんばって記録しよう。川の生き物が分かると、水のきれいさが分かるんだね。</p> 	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>稲田 祐美</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水が透き通っていて、何もいないかと思ったけど、石の裏や草の根元にいろいろいて、びっくりした。 ・去年、教わったとおりにタモを動かしたら、ニジマスが捕まえられた。今年はヤマメがいたけど、ニジマスはいなかった。 ・去年は川に入るのが嫌だったけど、今年は友だちと一緒に、虫を探して捕まえることができ、嬉しかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い活動ができている。専門的な知識のない担任では、子どもの質問に答え切れない面があるので、NPOとの連携あつての活動である。 ・2年目の今年は、昨年より積極的に活動に取り組む子どもの姿が見られた。継続して行う活動の良さを感じた。 ・H26年度は違う学年が田川で、H27・28年度はこの学年が奈良井川脇湧水で、生き物探しを行っている。H29年度は、両方の場所を比較する形で、学校のすぐ裏の田川でも観察をしてみたい。 		

授 業 名	水辺の生物の観察会
実施学校名	信州大学教育学部附属松本小学校
実施学年、学級 参加人数	1年東組37名
担当者	水野 真二郎
実施日（期間）	平成28年9月28日（水）
講師名	川と自然の文化研究所（NPO）
実施概要	年間を通して定期的に女鳥羽川を散策してきた子どもたちが、講師の先生から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりすることを通して、女鳥羽川への関心をさらに高めた。
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="708 1093 1230 1482" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">解説する講師の先生</p> <div data-bbox="708 1570 1222 1955" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">みんなで捜索中</p>

実施状況
(授業風景)



質問する子ども①



質問する子ども②

記 入 者

水野 真二郎

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・サワガニの見つけ方を教えてもらったので、前よりも自分で捕まえられるようになった。
- ・台風の後で、最初は生き物がいないと思ったけど、おしえてもらったから見つけられてよかった。
- ・いつも行っている川のことを、もっと知ることができてよかった。

2 先生方の感想、要望等

3名もの先生方にお越しいただき、子どもたちがいつも以上に生き物探しに没頭することができました。捕虫網や観察容器等、全員分の観察道具をご用意いただき、心から感謝しております。


次々と講師の先生に質問する姿や、見つけた生き物じっと観察する姿がありました。熱心にご対応いただいたことに、大変感謝しております。

授 業 名	
実施学校名	
実施学年、学級 参加人数	
担当者	
実施日（期間）	
講師名	
実施概要	<div style="border: 2px solid black; padding: 20px; text-align: center;"><h2>田川小 報告書</h2><p>2/22 開催</p></div>
実施状況 (授業風景)	

<p>実施状況 (授業風景)</p>	
<p>授業について</p>	<p>記 入</p> <p>1 授業を</p> <div data-bbox="632 958 1248 1245" style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>田川小 報告書 2/22 開催</p> </div> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>3 その他</p>

授 業 名	竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり
実施学校名	松本市立鎌田小学校
実施学年、学級 参加人数	6年2、4組 58名
担当者	西澤 祐子 守矢 久美
実施日（期間）	平成28年12月6日（火）
講師名	エコネットまつもと
実施概要	<p>〈蜜蝋と竹の学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蜜蝋のでき方や良さと、竹の種類について学ぶ <p>〈キャンドル作り〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹筒と蜜蝋を使って、手作りキャンドルをつくる。 <p>※制作した作品は、市役所および駅前に展示後、児童が持ち帰る。 （12/16 キャンドルナイトのイベントに参加）</p> <p>蜜蝋が自然環境にどのようによいかを学習したり、竹の種類と成長について学習したりすることを通して、自然の大切さを知り、今後の生活に生かしていくきっかけとする。</p>
実施状況 (授業風景)	

授業について	記 入 者	教頭 大槻 久
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、キャンドル作りに竹を使うということに驚きました。ロウソクをカップに置くだけだと思いましたが、竹の中に入れるという発想にびっくりしました。まるで中からかぐや姫でも出てくるように思いました。竹のどこに穴を開けるかによってデザインも変わってくるというのが特ちょうだということも分かりました。 ・図工室に足を踏み入れた瞬間、甘いようなにおいにつつまれて、何のにおいだろうと思いました。においの正体は、密蝋というロウで、環境にもいいロウでした。ロウは白いだけだと思っていた私は、黄色っぽいロウにおどろきました。値段は普通のロウの30倍！こんなにも高いロウがあるなんて信じられませんでした。植物が減ってきているので、ハチもみつを採りづらくなり、ハチの巣が作れず値段が高いのでは？と考えました。これ以上緑を減らさず、逆に増やせる街になってほしいなと思います。そして、密蝋が30倍もの値段ではなく、普通ほどこで売れるようなそんな世の中になってほしいと思います。そんな未来を私たちがつくっていかねばならないと思いました。つくるのも楽しかったけれど、こんな環境のことも考えてしまうような講座でした。分かりやすく教えてください、ありがとうございました。 ・竹を切るときむずかしかったけど、しっかりおさえてもらっていたりしたので、うまく切ることができうれしかったです。竹に穴を開けるときも、ぼくのお願い通りに穴を開けてくださり、うれしい思いと同時にすごいなあと思いました。来てくださった方全てが、真剣に穴を開けている姿を見て、かっこよかったし、すごく心がスカッとしました。あと、小さい穴を開けるとき、自分で穴を開けさせてもらいうれしかったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・密蝋という教材は、話を聞いて知れば知るほど、環境と密接に結びついていることがよく分かったとていい教材だと分かりました。私たちもとてもためになりました。 ・子どもがやりたいことをやらせていただき、子どもが難しいことはやっていただき、また、少し手助けして子どもが自分の力でできた喜びを味わうことができるようにと、個々の子どもにとって絶妙な支援をしていただきました。 ・何名かが松本駅に行って飾られているのを見てきました。周囲の明かりが強くて、ロウソクの明かりのよさが十分感じられなかったのが残念でした。 	

授 業 名	マイ箸づくり
実施学校名	松本市立会田中学校
実施学年、学級 参加人数	1年1組 23名 (うち3名欠席)
担当者	担任 藤原賢志
実施日(期間)	平成28年10月28日(金)
講師名	寿鉋の会
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月28日に、竹をつかったマイ箸を作る授業を行いました。目的は、正しく安全に道具を使えるようになることとし、一人1膳ずつ箸を削り出しました。 ・ 小刀、かんな、のこぎりなどの刃物を正しく使えるように講師の先生から個別に指導をいただきました。 ・ 夏休み前に事前に学有林から竹を切り出していましたが、太さが十分でなく、箸作りには適さなかったため、講師の先生方に準備していただいた材料を使わせていただきました。
実施状況 (授業風景)	 <p>採してきた竹を、慎重に小刀やかんなで削る</p> <p>小刀で鉛筆を削ったことのない生徒が多く、初めて使う道具に困惑する場面もありましたが、慣れてくると、黙々と作業に打ち込み、箸を削り出していく姿が見られました。</p>

実施状況
(授業風景)



講師の先生によるマンツーマンのご指導

記入者

藤原 賢志

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・刃物の持ち方から学び、初めて竹を削る体験をした子どもたちでしたが、時間が経つのを忘れるほどの集中力で取り組んでいました。翌日の生活記録にも、この体験についてほぼ全員の生徒が書いてきました。
- ・男女関わらず、ものを作ることの楽しさに触れ、有意義な時間を過ごすことができたという感想をもっていました。

2 先生方の感想、要望等





- ・この先、「刃物の正しい使い方」は学校では教えてもらえないことの一つであると思います。道具を安全に使いこなすことは、大人になっていく上で大切なことであると考えます。
- ・今回の実習だけがをする生徒はいませんでした。小刀を使うことの難しさと便利さに気づいた子どもたちは多かったと思います。さらに道具を使う体験を積み、ものづくりの楽しさを味わってほしいと願っています。

3 その他

- ・今回は中学校の学有林の竹を使えませんでした。次回は是非学有林にある自然を用いたものづくりを体験したいと思います。

授 業 名	マイ箸づくりと袋縫い
実施学校名	鎌田小学校
実施学年、学級 参加人数	6年1、4組 58名
担当者	渡辺 隆 守矢 久美
実施日（期間）	平成28年7月13日（水）
講師名	寿鉦の会・社協ボランティアセンター
実施概要	<p>1 日本に伝わる箸の文化や生活に根ざしているヒノキの特徴などから、伝統的な刃物や工具の使い方や便利さに及ぶまで、製作手順だけでなく歴史と文化に興味を持つような講話を聞いた。</p> <p>2 「ヒノキの間伐材で作るマイ箸」と「手に入りやすい布を活用した箸袋」を製作する意義を考えながら、実習を行った。</p>
実施状況 (授業風景)	   

<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>教頭 大槻 久</p>
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国植樹祭のプランターカバー作りについて取り組んだマイ箸作り。すっかりものづくりが気に入った様子だった。「できあがった箸は、家の人に頼んでしっかりコーティングしてもらうまでは、もったいないから使わない」という子どももいて、自作の箸を大事にしたいという気持ちが伝わってきた。 ・ 初めて聞く道具の名前に興味をもっていた。 ・ 子どもたちは、講師の方の名人とも言える技に驚いていた。 ・ 社会科で5年のときに学習して気にかけていた、原生林の減少を食い止めるにはどうしたらよいかということに、考えを及ぼしていた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生にとって、裁縫はまだ初めて一年くらいで初心者。切り出し刀やナイフなどを使うのは今回が初めてという児童がほとんどだったのではないかと思う。そのため、箸も箸袋も苦勞して作っていた。講師の方の指導がなければ、まず仕上がるまで至らないことを体験させていただいた。 ・ 事前のお話を聞いて、割り箸を使うのを控え、森林資源を守ろうという気持ちが少しでてきたように思う。 ・ 檜の性質やすごさ、箸の歴史など、子どもが興味をもてる話をたくさんお聴きすることができた。 ・ 箸作りも箸袋作りも、慣れない子どもたちができるように、温かい声かけをしてくださったり、手をとって教えてくださったりと、講師の方のお人柄に触れることができただけでも、よい体験をさせていただきありがたかった。 	

<p>授 業 名</p>	<p>あかりのエコ教室</p>
<p>実施学校名</p>	<p>安曇小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>5年 6年 参加人数12名</p>
<p>担当者</p>	<p>担任 吉嶋 哲男（5年） 一之瀬 真知（6年）</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年12月15日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>パナソニック(株) エコソリューションズ社</p>
<p>実施概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 家庭の中で電気を多く使う物を考える。 （正解は…1位：冷蔵庫、2位：照明器具、3位：テレビ…） 2 手回し発電機で、「電球」「蛍光灯」「LED電球」がどの位の力で点くのか調べる。（LED電球は、わずかな力で点灯） 3 電球・蛍光灯・LED電球が光る仕組みを知る。 4 ホログラムや自作電球の実験の師範を見る。 5 学習のまとめをし、これからできる「エコ」について考える。
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 家庭の中で電気を多く使う物を考える。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> 2 手回し発電機で、「電球」「蛍光灯」「LED電球」がどの位の力で点くのか調べる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

実施状況
(授業風景)

- 3 電球・蛍光灯・LED電球が光る仕組みを知る。
- 4 ホログラムや自作電球の実験の師範を見る。



- 5 学習のまとめをし、これからできる「エコ」について考える。

記入者

5学年担任 吉嶋 哲男

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・照明は、当たり前のように使っていた。でも、発電機をやってみて、電気を作るのがこんなに大変だったことがわかった。いい体験ができてよかった。
- ・僕は、ある程度電気の仕組みを知っているつもりだったが、白熱電球や蛍光灯、LEDの仕組みは初めて知ったし、手回し発電機や他の実験はすごく面白かったし楽しかった。
- ・一週間チャレンジも残り少ないので自分から積極的にチャレンジして、省エネにつとめていきたい。
- ・手回し発電など普段できない経験もできて楽しかった。後、少しでも人がいないところの電気を消したりすることを心がけていることも大切だと思った。
- ・いままで、電気の仕組みの事は、あまり知らなかったけど白熱灯と蛍光灯とLEDとで仕組みが違うことが分かって良かった。
- ・LEDは十年も持つのですごいと思った。
- ・冷蔵庫が一番電気を使っていたけど、照明とテレビも二番目と三番目に多く使っているの、LEDにしたりもう少し節電したりしようと思った。

2 先生方の感想、要望等

- ・学校ではできない実験や体験ができて、子どもたちには大変よい学習になったと思います。自分たちが取り組める「エコ」について考えるよいきっかけにもなったかと思います。
- ・残りの時間にやっていただいた、手作り白熱灯等の実験も楽しかったです。

授 業 名	生ごみ処理機を使用した堆肥作り
実施学校名	松本市立中山小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年 1 学級 参加人数 17 人
担当者	柿沼 佑樹
実施日（期間）	平成28年6月10日（金）～10月24日（月） ※生ゴミ投入期間
講師名	(株)キクイチ
実施概要	生ゴミ処理機を使って 家庭から出た生ゴミで堆肥を作る活動
実施状況 (授業風景)	<div data-bbox="464 1099 1062 1547" data-label="Image"> </div> <p>6月10日(木) (株)キクイチの百瀬さんにお越しいただき、生ゴミ処理機「はらぺこくん」の使い方や、どのように堆肥が作られるのかについて説明を聞く。</p> <div data-bbox="464 1630 863 1883" data-label="Text"> <p>留意点や説明を聞いた後、実際に持ってきた家庭から出た生ゴミを処理機に投入。この日から約4ヶ月間、当番制で処理機への生ゴミ投入が始まる。</p> </div> <div data-bbox="871 1563 1458 2000" data-label="Image"> </div>

実施状況
(授業風景)

投入前に生ゴミの重さを量り、投入。蓋を閉めない
と攪拌の様子はわからない
ものの、攪拌終了後のおが
屑と生ゴミが混ざり合う様
子を確認。



現在、堆肥の受け取りを
待っている状況。完成次第、
学校にて受け取り、堆肥の
状態や様子を確認する予定。

記 入 者

柿沼 佑樹

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・「はらぺこくん」への生ゴミ投入後、しばらくすると生ゴミのにおいがなくなっていることに驚いていた。
- ・夏場の時期等は、生ゴミを持ってくるとにおいがして抵抗があったようだが、当番の日に持ってきては投入できていた。
- ・他学年の給食のご飯の残飯が出ると、それをいただいて投入する様子があった。また、パンの残りが出たときも投入する姿があり、少しでも投入量を増やそうとする姿が見られた。
- ・今後堆肥を受け取ったら、畑や花だんにまいて、おいしい野菜やきれいな花ができればいい。

2 先生方の感想、要望等

- ・生ゴミ処理機で作られた堆肥の効果について詳しく教えていただき、大変参考になりました。
- ・微生物の働きから生活に役立つ堆肥を作り出すことができる生ゴミ処理機の性能に驚き、興味を持っていました。
- ・普段、時間がかかっても残さず食べる学級ではあるが、残った残飯が効果的に使われることを学ぶことができ、大変ありがたかったです。
- ・学校としては、職員室から出たお茶の出廻らしや余剰分の給食の残りなどを投入することができ、堆肥作りに一役買うことができました。ありがとうございました。

<p>授 業 名</p>	<p>木の授業とバウムクーヘン作り</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立鎌田小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>6年3、4、5組 86名</p>
<p>担当者</p>	<p>速渡 開也 守矢 久美 中林 文広</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年11月17日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>寿さと山くらぶ</p>
<p>実施概要</p>	<p>・木の年輪やバウムクーヘンの由来についてのお話を聞き、野外でバウムクーヘン作りを行った。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	

授業について	記入者	教頭 大槻 久
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞いて、1万年前の木を切ったらその年輪で1万年前の気候が分かるということがすごく驚きました。他にも、年輪は普通でできていると思っていたけど、夏に干ばつの影響が大きいと白い部分が厚くでき、冬の寒さで茶色い部分が厚くなるというところもびっくりしました。 ・バウムクーヘンの作り方は、木の年輪のでき方とほとんど同じということが知れてよかったです。1年目に竹に生地をぬった時、本当にこれでできるのかと思いましたが、5年目ぐらいに少しずつふっくらしてきてすごいと思いました。ぼくたちは、11年やりました。かなり大きくておいしそうでした。貴重な体験をありがとうございました。 ・お話は初めて知ることばかりですごくおもしろかったです。一年ごとに一枚輪が増えるのは知っていましたが、何のためか？とは考えたこともなく、成長したり寒さから身を守ったりするためと聞いた時は「木も精いっぱいがんばって生きているんだなあ」とびっくりしてしまいました。 ・バウムクーヘンをただおいしい！とそこだけ見て、そこにたどりつくまでの行程なんて今まで考えませんでした。何度も何度も生地を巻いて作るバウムクーヘンは、木と同じで、私が知らなかっただけで、できあがるまでとても時間がかかりました。これからもじっくりいろんなものの事を考えてみたいです。 ・バウムクーヘン作りは、同じ作業の繰り返しであきちゃうかとも思っていたのは大まちがいで、生地を重ねるごとに厚く太くなっていき、回しながら焼くには少し手が痛くなりました。だけど、それだけ自分たちががんばってつくったバウムクーヘンは、とってもおいしかったです。バウムクーヘンのはじっこなんて売っていないから、作った人が食べられる裏メニュー的でした。周りの部分も炭で焼いたせいかスモークで香ばしくて、これもおいしかったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バウムクーヘン作りがどうして環境教育になるのかと半信半疑でしたが、お話をお聴きして、また、バウムクーヘンを子どもたちがじっくりと根気よく、しかも友だちと協力して取り組む姿を見て、納得が이었습니다。 ・11月ということに加えて、体育館の北側ということで寒さが心配でしたが、火を囲んで熱心に取り組むことができたので、ちょうどよい加減でした。 ・家に持って帰って、家族にも喜んでもらえたという子どもたちがほとんどでした。喜びを、自分だけでなく家族とともに分かち合うことができたという点でも、よい体験になりました。 	

授 業 名	木の授業とバウムクーヘン作り
実施学校名	松本市立二子小学校
実施学年、学級 参加人数	4 学年 2 学級 (1 組 2 8 名、2 組 2 7 名)
担当者	担任 林まゆみ
実施日 (期間)	平成 2 8 年 1 0 月 2 8 日 (金)
講師名	寿さと山くらぶ
実施概要	<p>1 木に関する学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の成長について。 ・年輪のでき方とバウムクーヘンの関連性について。 <p>2 バウムクーヘン作りの体験学習。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料や火の扱い方、声のかけ方など指導を受け、各クラス 2 つのグループに分かれてバウムクーヘン作りを行った。
実施状況 (授業風景)	<p>悪天候が心配されたため、予め駐輪場を利用してテントを設営し、準備</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>全体説明の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卵割りに挑戦</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>割った卵をかき混ぜる</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>竹を回しながら焼き上げる</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



竹から抜いて、切って完成！



一人分ずつ袋に入れて
その後はおいしく試食

記入者

担任 林まゆみ



授業について


1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等





- ・バウムクーヘンを焼いていると、とてもよい香りが広がって、食べるまで待ち遠しかった。
- ・バウムクーヘン作りのことがよく分かったし、おいかったし楽しくできて良かった。
- ・お話がとてもわかりやすかった。
- ・竹にぬって、炭で焼く時にとっても顔が熱かったけど、がまんして焼いていたらおいしそうなおいがしてきてとても楽しかった。

2 先生方の感想、要望等

- ・準備段階では、子ども達がケガ・やけど無くできるように、安全面にまで気を配ったり、材料費支払いについてのシステムが変わっていることにまで心配をして連絡を下さったり、細やかな気遣いが大変に有難かった。
- ・当日は、4名の方々が、時には子どもの手を取って具体的に指導して下さり、子ども達も安心して体験することができたと思う。

授 業 名	木の学習と鉛筆立て制作
実施学校名	松本市立島立小学校
実施学年、学級 参加人数	3学年 2学級 参加人数66名
担当者	3年2組 担任 関 佑介
実施日（期間）	平成28年10月5日（水）
講師名	寿さと山くらぶ
実施概要	<p>1、学校周辺にある木を見ながら、それらの木々の特性を教えてもらい、木の持つ味わい、幹の大きさ、実の様子を観察した。</p> <p>2、学校周辺の木々について学んだ後、日をおいて、鉛筆立て制作のための材料集め活動を行う。どんぐり、葉っぱ、小枝など自分が気に入ったものを集めた。</p> <p>3、太い丸太をのこぎりで切り、鉛筆立ての土台となる部分を作り、自分で拾ってきた材料で、自分の発想を生かしながら制作し、オリジナルの鉛筆立てを制作した。</p>
実施状況 (授業風景)	<p style="text-align: center;">丸太を切る</p>  <p style="text-align: center;">どんぐりや葉っぱや枝を組み合わせ飾る</p> 

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>作品例</p> 	
<p>授業について</p>	<p>記入者</p>	<p>関 佑介</p>
<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>○丸太を切ることがとても大変だったけれど、どんぐりや枝をホットボンドでつけて鉛筆立てができて嬉しかった。</p> <p>○大きな木をのこぎりで切る時には、少し大変だったけれど、教えてくれて切ることができて、良かった。</p> <p>○鉛筆立てがうまくできてうれしかった。家で使いたい。</p> <p>子ども達が夢中になって作品を制作していた。学校周辺の木の実や枝や葉っぱを夢中になって拾い、自分で拾ってきた材料を楽しみながら、えんぴつたてに装飾した。それぞれのオリジナルな作品となった。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>○木で作られたねずみを装飾用にプレゼント等していただいて、子ども達も喜んでいて、とてもありがたかった。</p> <p>○木の学習をしてから制作に入ったことで、木を学び、そして、自然物を使って造形作品をつくるという流れがとても良かった。自然を学ぶと同時に作品制作によって、身近なものが変身して作品となることを実感することができた。</p> <p>○3 学年の図画工作科の学習でのこぎりを扱うので、これを機に丁寧な指導をしていただくことができた。とてもありがたかった。各自が満足する作品に仕上がった。</p> <p>○大きな丸太の木をのこぎりを使って切る活動は、普段の生活の中ではなかなかできない体験で、やりがいがあった。のこぎりの使い方はもちろん抵抗感のある木を力を入れて、切り続けるという経験がとても貴重な経験となった。</p> <p>○出来上がった作品をみると自然のものを材料に使いながら様々な発想のある作品が出来上がり、子どもたちもとても満足した。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>木材の活用法</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立二子小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>特別支援学級 2年生1名 4年生1名 5年生2名 6年生2名</p>
<p>担当者</p>	<p>祝迫なおみ 中村慶子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年7月26日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市林業士会（寿さと山くらぶ）</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木にはいろいろな種類があることを、枝に触ったり匂いをかいだりして学んだ。 ・どんぐり、まつぼっくり、小さな枝、用意していただいたうさぎやきのこなどを使って鉛筆立てを作ったり、竹を使ってとんぼを作ったりした。
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>木の種類を知ろう</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>うさぎの作り方を聞く</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>どんな風に置こうかな？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>電動ドリル、うまくできるかな</p> </div> </div>

実施状況
(授業風景)



ここに穴を開けよう



竹とんぼの作り方の説明

記入者

祝迫 なおみ

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・かわいい鉛筆立てができて、うれしかった。
- ・どんぐり、うさぎ、きのこをいっぱいのせて楽しかった。
- ・電動ドリルを初めて使って楽しかった。
- ・もっとドリルを使って作りたかった。

2 先生方の感想、要望等

子どもたちが里山の木について知ることができるように、本物の木や枝をもってきていただき、木の様子がよくわかりました。

また、鉛筆立て作りでは、きのこやうさぎなど、子どもたちが喜ぶ材料を準備していただき、あれこれ考えながら楽しく制作に取り組み、作品を完成させることができました。どの子も自分の作品に満足そうでした。制作中は、子どもたちが木や材料とうまく関わるように、話をしたり手を添えてくださったりして大変ありがたかったです。普段使うことができない電動ドリルも使わせていただき、子どもたちはとてもうれしそうでした。

授 業 名	間伐学習
実施学校名	松本市立会田中学校
実施学年、学級 参加人数	2学年 35名
担当者	松田 慎也
実施日（期間）	平成28年9月2日（金）
講師名	四賀林研
実施概要	<p>間伐の必要性や方法、伐採木の選び方を教えていただき、伐採木に印をつけた。 チェーンソーでの伐採を見学した。</p>
実施状況 (授業風景)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四賀の山々の状況と関わり、間伐の必要性や間伐の仕方について説明を聞いた。  <p>(説明を聞く様子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山に入り、伐採木の選び方について教えてもらい、一人ひとり木にマークを付ける作業を行った。 <p>(伐採木の選び方を教わっている様子)</p> 

実施状況
(授業風景)



(伐採木にマークをつける様子)



・チェーンソーでの伐採の様子を見学した。その際に、伐採するときの注意点などを教わった。



(伐採の様子)

記入者

松田 慎也

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・松食い虫の被害の深刻さを改めて感じた。これまでは価値の低かった松枯れした材木でも、新しい可能性があることがわかった。
- ・山は放っておいてもだめなんだと思った。木を使うことも、山の状態をよくしていくためには必要だということを知った。
- ・今日切ってもらった木を製材していくのが楽しみになった。

2 先生方の感想、要望等

- ・次回以降の学習の導入になってよかった。
- ・活動する時間が少なくなってしまったので残念だった。生徒が実際に動いて活動する時間をもう少し長くしてもらえるとありがたい。

<p>授 業 名</p>	<p>木材の活用法</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立会田中学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>2学年 35名</p>
<p>担当者</p>	<p>松田 慎也</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年10月21日（金）・11月22日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市林業士会</p>
<p>実施概要</p>	<p>10/21 ・事前に考えておいた木工作品のデザインをもとに、学有林で伐採していただいた松枯れ材の製材を行った。</p> <p>11/22 ・前回製材した木材を使って、ベンチや花置き台を製作した。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>10/21 ・学有林から、伐採してもらってあった丸太を、縄で引っ張りだし出し、製材機にセッティングした。</p> <div data-bbox="491 1227 938 1509" data-label="Image"> </div> <p>(伐採木を引き出す様子)</p> <div data-bbox="963 1272 1410 1554" data-label="Image"> </div> <p>(製材の仕方を教わる様子)</p> <p>・製材の方法を教わり、実際に製材を行った。 *チェーンソーを設置した移動式製材機を使用</p> <div data-bbox="491 1742 938 2002" data-label="Image"> </div> <p>(製材の様子)</p> <div data-bbox="963 1742 1410 2002" data-label="Image"> </div>

11/22

- ・製材された板材をやすりで削ったり、長さを調節したりした。



(やすりでこする様子)



(のこぎりで切る様子)

実施状況
(授業風景)

- ・ベンチの足、花置き台の足を取り付けた。



- ・完成品

ベンチ



花置き



授業について

記入者


松田 慎也

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・製材作業は初め怖かったけど、しっかりと切ることができてよかった。松枯れ材特有の青い色が入っていて、味があっていいと思った。
- ・やすりでこする作業が意外と大変だったけど、表面がすべすべになり、よいベンチが完成してよかった。校舎のなかで役に立つとうれしい。
- ・松枯れ材が生まれ変わった。もっと松枯れ材が流通するといいなと思った。

2 先生方の感想、要望等

- ・もの作りの好きな生徒が多いので、意欲的に作業に取り組むことができた。その中で、松枯れ材の特徴に触れ、その良さや可能性を感じることができてよかった。
- ・全体を通し、身近な松枯れの問題に目を向け、関心を深められてよかった。

授 業 名	木材の活用法	
実施学校名	松本市立菅野小学校	
実施学年、学級 参加人数	4 学年 4 学級	参加人数 1 1 3 名
担当者	松岡 麻衣	
実施日（期間）	平成28年11月8日（火）、11月9日（水） （2学級ずつ実施）	
講師名	松本市林業士会	
実施概要	<p>図工「ペン立てをつくろう」の単元として実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 木についての学習 2 道具の使い方 3 ペンたて作り <ol style="list-style-type: none"> ①のこぎりをつかって木を切る ②ドリルで穴をあける。 ③飾りをつける。 	
実施状況 （授業風景）		木の種類と道具についてのお話
		<p>ペンたて作り① のこぎりを使って 木を切る</p> <p>「なかなか切れない。」 「コツがあるんだな。」</p>

実施状況
(授業風景)



ペンたて作り②

ドリルで
穴をあける。

「少しこわいよ。」
「大丈夫。しっかり押さえ
ているから。」



ペンたて作り③

飾りをつける。

スカイパークで拾い集めて
きた木の実やもみじなどの
葉っぱで飾り付け

「こういうふうにつけると
いいんじゃない」

記 入 者

松岡 麻衣

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・のこぎりを使う場面では、最初はとても緊張しておっかなびっくりやっていた子どもたちだったが、コツを教えてもらってとんとんと勢いよくのこぎりを動かして切る楽しさを味わっていた。また、木の種類によって堅さがちがうことに驚く姿もあった。
- ・電動ドリルで穴をあける場面は、子どもたちにとっては難しいものだったが、講師の手助けで意欲的に取り組むことができた。道具の便利さを驚きとともに知ることができたようだ。
- ・飾り付けの場面では、講師のアドバイスを聞きながらそれぞれ思い思いに木の実等を取り付け、できあがりに満足感を覚えていた。

2 先生方の感想、要望等

- ・学校職員だけでは、のこぎりやドリル等の道具の指導がなかなか行き届かないので、この事業で大勢の講師の先生方にマンツーマンで教えていただき大変ありがたかった。
- ・子どもたちの満足感がとても高く、うれしそうに作品を持ち帰る姿がみられた。
- ・木の種類とその性質(堅さ)についてのお話も大変勉強になった。今後の教材研究に役立てたい。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立鎌田小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1年5クラス、特別支援3クラス、4年1クラス 合計219人</p>
<p>担当者</p>	<p>教頭 大槻久 理科係 伊藤春樹 1年主任 池上正夫 4年5組担任 高坂秀樹 特別支援主任 勝俣静子</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年5月23日（月）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 (株)奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンをつくることのよさを学ぶ。 ・アサガオの種のまき方を学び、立てていただいた支柱やネットの下に一人ずつ種をまいた。
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>「緑のカーテン」って何？</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>種をまこう</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>きれいな花が咲いたね</p> </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>

	記 入 者	教頭 大槻 久
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学してまだ2ヶ月もたっていない1年生だったが、説明をよく聞くことができた。分かりやすい話、集中できる内容だったと思う。 ・畑に一人4ずつ種をまいた。自分の鉢にまくときと同じように、まくときにとっても大事そうに土や水をかけたりしていた理由の一つに、緑のカーテンの説明を聞いたことがあげられると思う。 ・自分の鉢のアサガオは、花を育て大事にすることだけが目的になるが、たくさんの花があったので、自由に思い思いの関わりができた。 ・花がさくと、子どもたちは、ビニール袋に花と水を入れて色水づくりを楽しんだ。 ・種がこぼれると、競って集めようとする子どもがたくさんいた。家や地区の公園等に持ち帰ってまいたりすると、次年度を楽しみにしていた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明といただいた資料がとてもよかったので、通信の裏面に載せたりして、保護者にも知らせた。 ・緑のカーテンが屋外の諸活動が子どもの目に入らず、また、砂埃の侵入も和らげて、授業に集中しやすい環境づくりの助けになり、ありがたかった。 ・枯れたツルがたくさんあったので、リースづくりがどのクラスでもできた。 ・緑のカーテンのおかげで、夏涼しく過ごすことができた。 ・目の前に植物があることで、癒やされた。 ・今年は「カーテン」と呼ぶには至らない状態の箇所もあって、残念だった。何がいけなかったのか、どうすればよかったのか、アドバイスをいただくようにすればよかった。 	

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導 「緑のカーテンのはたらきと地球温暖化」</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立源池小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>4 学年（1、2 組） 51 名</p>
<p>担当者</p>	<p>林 哲也 高山 彬夫</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年6月7日（火）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PowerPoint を使った「地球温暖化」に関する講義 （地球温暖化の現状やこのままだと今後とどうなるか、自分たちが できることは何か、緑のカーテンの効果や管理について） ・ 緑のカーテンとなるアサガオの種まき
<p>実施状況 （授業風景）</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【地球温暖化と緑のカーテンの効果】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">【アサガオの種植えの様子】</p>

実施状況
(授業風景)



【緑のカーテンの様子】

記入者

4年1組担任 林 哲也


授業について

1 子どもたちの反応・感想等

- ・地球温暖化が年々深刻化していることを具体的なデータや画像を元に詳しく教えていただき、やや難しい部分はあったものの、子どもたちも分かりやすく学ぶことができました。
- ・年数が進むにつれて青色からだんだんオレンジ色に変化していく世界地図を見て、「どんどん温度が上がってる！！」などの驚きの声が聞かれた。
- ・温暖化がどうしてもいけないのか、温暖化が進むことによってどんなことが起こるのかを教えていただいた。
- ・自然環境が破壊されていることを説明していただいたので、子どもたちが自分たちにもできることをしたいという思いを持って、その後の「みどりのカーテン作り」の活動に取り組むことができました。
- ・朝顔は、水やり当番を決めて、責任を持って育てようとする姿があった。花が咲くと「この花きれいな模様だね」「たくさん咲いたね」などの声が聞こえ、植物の生長を感じながら生活できた。

2 先生方の感想、要望等

- ・奥原造園の方々には、緑のカーテンの設置や撤去だけでなく、授業の準備まで大変お世話になり、ありがたかった。
- ・世界地図で年平均気温の上昇の様子を分かりやすく説明していただき、直面している地球温暖化への理解を深めることができました。
- ・切羽詰った状況になっていることを多くの子ども達を感じる事ができた。
- ・自分たちができる対策として、二酸化炭素を排出しないこと、緑のカーテン設置などがあることを知ることができた。
- ・このような活動を市で援助していただけてありがたい。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立本郷小学校
実施学年、学級 参加人数	2学年 44名
担当者	小笠原 督
実施日（期間）	平成28年5月25日（水）
講師名	松本市緑化協会（株）奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none">・緑のカーテンとは何か・緑のカーテンの良さ・緑のカーテンの設置方法の座学と実際の種植え
実施状況 (授業風景)	 <p>パソコンのデータを使いながら、みどりのカーテンの良さや役割を詳しく説明してくれている。</p>

実施状況
(授業風景)



花壇に植える前に、手順を説明してくれている。

記入者

2学年担任 小笠原 督

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等



- ・あさがおの花がたくさん咲いて、きれいだった。
- ・種がたくさん取れてよかった。
- ・でかいもむしがいた。
- ・色水を作るのが楽しかった。
- ・ひょうたんで人形を作るのが楽しかった。
- ・きゅうりがたくさんなって、1組にもあげた。

2 先生方の感想、要望等

- ・あさがおは昨年度と比較すると少々花が少なく、種もあんまり取れなかった。
- ・同時に1組は千成りひょうたん、2組はきゅうりを植えたが、クラスごと楽しむことができた。
- ・片付けの声かけをしてくれたが、数日前に学級ごとに片付けを終了してしまっていたため、申し訳なかったがお断りさせていただいた。
- ・途中で、育てる際のアドバイスなどいただけると良かった。

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立島内小学校
実施学年、学級 参加人数	1学年116人 2学年100人
担当者	1年担任 今井優花 大武宗胤 大木紀子 大槻潤 2年担任 齋藤一弥 岡村亜紀 滝口雅彦
実施日（期間）	平成28年5月23日（月）
講師名	松本市緑化協会（株）奥原造園
実施概要	<p>1 緑のカーテンが環境にとっていかにいいことか、また、設置の仕方はどのようにするのか等、講師の話で学んだ。</p> <p>2 講師の方々が設置してくださった緑のカーテンの仕上げに、アサガオの種をまいた。</p>
実施状況 （授業風景）	<div style="text-align: center;">  <p>まず緑のカーテンについて話をお聞きしました</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>アサガオの種まき（1年）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アサガオの種まき（2年）</p> </div> </div>

授業について	記入者	環境教育係 上條隆久
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が鉢でアサガオを育て始めた時期であるが、緑のカーテンのアサガオは、クラス・学年みんなと一緒に育てることができ、しかも2階のベランダを越えるまで伸びることができるほど高くスケールの大きいもので、これからアサガオが育っていくのが大変楽しみな様子であった。 ・子どもたちは、その後の水やりなどの世話もよくやり、アサガオは、夏には高く伸びたつるに大きな葉や花をつけ立派に成長した。そして、その様子を絵に描いたり、花を押し花にしたりした。秋にはつるでリースを作って、楽しみながらアサガオとたくさん関わることができた。図工でのアサガオの絵画制作では、水やりなどの世話をした体験や、元気に育ちたくさんの花が咲いてうれしかったことなどの気持ちをもとに、心の込めた作品に仕上げることができた。そして、各種作品展に入賞するものもあった。 <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンを含む庭を「島内公園」と名づけ、緑のカーテンのアサガオの前に位置する畑やプランターで栽培している野菜、3頭のヤギがいる広場とその牧草地等、自然とたくさん関わることができるよう素敵な空間になった。 ・緑のカーテンをきっかけに、自然環境をよりよいものにできる経験をした子どもたちは、玄関前の池にも関心を持ち、魚にとっていい環境の池にしようと池の掃除をしたり鳥から魚を守る工夫をしたりする活動などにつながった。 ・図工でのやぎの絵画制作では、やぎの世話をしたり一緒に遊んだりした体験をもとに、心を込めた作品に仕上げ、各種作品展に入賞した。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い竹と大きな網を使った本格的な緑のカーテンで、学校の力だけでは到底作ることができない立派な緑のカーテンを設置していただいたおかげで、緑が一段と増えて多くの花が咲く魅力的な環境になりました。教室からもアサガオが日一日と成長する様子がよく分かりました。また、夏の暑い日差しを防ぎ、ベランダは日陰の気持ちよい空間となりました。 ・ヤギと共に過ごした思い出と共に、緑のカーテンを中心に素敵な環境で過ごせたことは、子どもたちの心にずっと残ると思います。ありがとうございました。 	

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立田川小学校
実施学年、学級 参加人数	1 学年 4 5 名
担当者	玉沢 恵美子 木村 秀子
実施日（期間）	平成 2 8 年 5 月 3 1 日（火）
講師名	松本市緑化協会（株）奥原造園
実施概要	<p>生活科の学習で一人一鉢、朝顔の種まきをした子どもたちは、昨年の1年生がベランダの花壇でも朝顔を育てカーテンのようにしたことを聞いて、興味をもっていた。奥原造園の方から最初に「緑のカーテンがあるとどんないいことがあるのか」を教えていただき、更に、他の学校の昨年の緑のカーテンの写真も見せていただいた。自分たちも緑のカーテンを作りたいと思った子どもたちは、早速、奥原造園の方からいただいた朝顔の種を、全員で少しずつベランダの花壇に丁寧に蒔いた。</p>
実施状況 (授業風景)	<p>★『緑のカーテン』について奥原造園の方からお話を聞きました。 【クーラー】と【緑のカーテン】の違いのプリントを真剣に見ています。</p>   <p>ぼくの家ではクーラーを使っているよ。朝顔でも涼しくなれるんだ。</p>

実施状況
(授業風景)

★地面に穴をあけ、やさしく朝顔の種を蒔きました。



早く芽を出してね。
朝顔さん。『緑のカー
テン』になあれ。

記 入 者

木村 秀子

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等


- ・（お話をお聞きして）僕たちの家では、クーラーを使っているのに、朝顔で涼しくなれるなんてすごいなあ。
- ・（他の学校の『緑のカーテン』の写真を見て）すごいなあ。朝顔があんなふうに（びっしりと）なるんだなあ。ぼくたちもあんなふうになるといいなあ。
- ・（種まきをして）早く芽が出るといいなあ。ちゃんと育つように忘れずにお水をあげよう。

授業後、毎日自分の一人一鉢に水をあげるときに、ベランダの花壇にもたくさん水をあげる姿が見られた。





つるがどんどん伸びていく様子に、自分が蒔いた種だと嬉しそうに声をあげていた。初めて花が咲いたのを見つけると、喜んで報告してくれた。また、夏休み明けには、屋根よりもつるが伸びていることに驚いていた。

2 先生方の感想、要望等

- ・テレビが使えず、急遽プリントでの説明になってしまったが、子どもたちの反応を見ながら説明してくださり、とてもわかりやすかった。
- ・環境教育ではあるが、花を育てるという具体的で楽しい活動なので、低学年にはとても良いと思う。

授 業 名	緑のカーテン設置指導 「グリーンカーテンで夏も涼しく」
実施学校名	松本市立中山小学校
実施学年、学級 参加人数	2年1組 17名
担当者	担任 北見 聖
実施日（期間）	平成28年5月18日（水）
講師名	松本市緑化協会 （株）奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテン（緑のカーテン）とは何かスライドを見ながら説明していただき、子どもたちも環境について考えることができた。 ・「エアコンを使うと部屋の中は涼しくなるが、室外機からは暑い風が出ている。グリーンカーテンは植物が土から水を吸い上げて人間が汗をかくのと同じように水を出しているため自分もみんなも涼しさを感じられる。」ということを学んだ。 ・その後、教室前の花壇にアサガオ・ゴーヤ・きゅうりの種まきを行った。
実施状況 （授業風景）	 <p>奥原さんによるグリーンカーテンについての授業</p>  <p>奥原さんに教えていただきながらアサガオの種まきをする児童</p>

授業について	記入者	2年担任 北見 聖
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンって、初めて知った。 ・グリーンカーテンの方が優しいね。 ・クーラーよりもグリーンカーテンの方がよさそう。 ・もっとたくさん咲けば良いな。 ・早くグリーンカーテンができるといいなあ。 ・アサガオの花が咲いたよ。 ・きゅうりの花も咲いてきたよ。 ・自分たちで育てたきゅうりはおいしいね。 ・アサガオの種がたくさんできたよ。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の奥原さんに、グリーンカーテンについてパワーポイントを用いて子どもたちに分かりやすくご説明いただき、とてもありがたかった。グリーンカーテンの良さを学習することで環境問題についても考えるきっかけとなった。 ・昨年一人ひとりポットで育てたアサガオの種をとってあったので、今年はグリーンカーテンとして皆で水遣りを行った。 ・きゅうりやゴーヤも植えた。花や実がなったときには、クラス全員で見に行き、楽しみながら世話をすることができた。生い茂るほどのカーテンにすることはできなかったが、グリーンカーテンがあることで涼しげな教室となった。 ・自分たちで育てた野菜は何もつけなくてもおいしいと喜んで食べていた。 	

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導 『「緑のカーテン」を作ろう』</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立芳川小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>4 学年 4 学級 参加人数 1 1 4 名</p>
<p>担当者</p>	<p>4 年 3 組 担任 瀬原田 英之</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成 2 8 年 7 月 8 日（金）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<p>○講師の奥原さんよりお話をお聞きして、下記について学んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化について ・緑のカーテンの効果について ○理科「へちまの観察」</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">奥原さんのお話を、真剣に聞きます。 地球はどうなってしまうんだろう？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">どこまで大きくなるかなあ・・・へちまの観察</p>

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

○奥原さんのお話から

- ・緑のカーテンで、暑さをふせげるなんて知りませんでした。
 - ・地球温暖化の進んでいく様子を見て、びっくりしました。このまま進んでいったら、地球全体が真っ赤になってしまうことが分かりました。地球がどんどん暑くなっていってしまうと、これからどうなるのかなと思いました。
 - ・地球温暖化について分かりました。このまま対策をしないですと、50年後100年後に、地球がどうなるかわからないので、みんなでがんばって、地球温暖化を少しでも遅らせたいです。
 - ・これから学校に緑のカーテンを作って、ヘチマとアサガオを育てていきたいです。学校中のみんなに、きれいなアサガオを見てもらいたいです。そして、ヘチマの観察をして、収穫してみたいです。
- 理科では、ヘチマがぐんぐん伸びて大きくなっていく姿を観察することで、植物の生長を実感することができた。

2 先生方の感想、要望等

- ・環境学習ではパワーポイントで地図やグラフを使い、児童が興味を引くように工夫して授業をしていただきありがたかった。ただ4年生にはやや難しい内容も含まれていた。
- ・緑のカーテンを作っていたいただいたおかげで理科でのヘチマの観察がとてもやりやすく、ありがたかった。また普段なかなかできない環境教育にも目を向けるよい機会となった。
- ・奥原造園さんが、棚作りを手際よくやってくださり、大変助かった。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立今井小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1年1組 27名 2年1組 30名</p>
<p>担当者</p>	<p>1学年担任 浦 嘉宏 2学年担任 塩原千史</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年5月20日（金）</p>
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 緑のカーテンによる日陰があることで、教室が涼しくなったり、温暖化防止対策になったりすることをプレゼンテーションしてもらいながら学んだ。 2 実際に種を蒔いて、水やりをした。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>温暖化防止対策について勉強中</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>一人ひとり種を蒔きました</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>立派なカーテンができました</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>たくさんの種がとれました</p> </div> </div>

授業について	記入者	1 学年担任 浦 嘉宏
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさん水をあげて、早く芽が出てくるといいな。 ・去年もやったけど、今年も、去年みたいに、立派なカーテンができるといいな。 ・家でも、今年は、緑のカーテンを作ってみようかな。 ・ぼくの家も、緑のカーテンを作っているけど、学校みたいに大きくはできないから、大きく育つのが楽しみだな。 ・去年は、たくさん種がとれたから、今年もたくさん種がとれるといいな。 ・緑のカーテンで、日陰ができて、少しでも教室の中が涼しくなってくれるといいな。 ・緑のカーテンのあさがおを使って、きれいな色水ができたよ。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>奥原さんには、昨年同様、どうして緑のカーテンを作ると温暖化対策になるのかということをお教えた。2年生は去年も聞いているが、改めて緑のカーテンの大切さに気づいた様子だった。とても気さくに子どもたちにも話しかけてくださり、子どもたちの中から自然と質問が出たり、作業内容について聞いたりすることができた。</p> <p>昨年に比べ、緑のカーテンがあまり大きく成長しない部分がありました。子どもたちも、少しがっかりしていました。水も、去年のようにあげてはいましたが、その年の雨の量やお日様の当たり具合、肥料にもよるのかな？と思います。また、周りに草もたくさん生えてしまって、そちらに栄養がとられてしまったことも原因として考えられます。</p> <p>それでも、子どもたちは芽が出てくると大喜びして、どんどんつるを伸ばしていくアサガオの様子に目を輝かせていました。特に、今年、初めて緑のカーテンを育てる1年生は、自分たちが育てているアサガオの成長と比べながら、とても一生懸命、水やりをしていました。だんだん成長して行って花が咲き出すと、花を取って押し花にしたり、色水を作ったりする姿が見られました。</p> <p>日差しもさえぎってくれ、西日が強く当たる頃になった夏休み明けは、とても役に立ちました。来年は、もっと水やりをしっかりとしたり、追肥をしたりして、今年以上のカーテンを作りたいと思います。</p>	

授 業 名	緑のカーテン設置指導
実施学校名	松本市立四賀小学校
実施学年、学級 参加人数	4～6年 73名
担当者	宮坂到
実施日（期間）	平成28年5月19日（木） 11時～12時半
講師名	松本市緑化協会（株）奥原造園
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンの効用を知る。 ・朝顔・西洋朝顔の播種・定植を行う。
実施状況 （授業風景）	 <p>・実施3年目にあたる本年度は、緑のカーテンを設けることで、節電や二酸化炭素の削減が期待できることをお話ししていただき、播種の時間を長くいただきました。</p> <p>・播種の際には、種を入れる穴の深さまで詳しく話していただきました。また、発芽後に水やりをしっかりと行うことでアサガオがより大きくなっていくことを教えていただきました。</p>

実施状況
(授業風景)



・子どもたちは、朝顔が大きく育つようにと一粒ずつ丁寧に播種しました。

・種子が小さいのでいくつかこぼしてしまった子もいましたが、丁寧に拾って植えていました。

記入者

宮坂到

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・四賀小にはあまり日陰もないから、しっかり育て日陰を作ってほしいな。
- ・去年はあまり朝顔が大きく育たなかったから、今年は大きく育つといいな。
- ・去年の時も「こまめに節電をしよう」って思ったけど、あまりできなかったから、今年がんばろうと思う。

2 先生方の感想、要望等

- ・今年も引き続き竹やネット、種子や苗などの準備や棚の設置を全て行っていただき、ありがたかった。
- ・地球温暖化につながる内容は、過去二年間お聞きしている。今年により簡略化して作業時間を多めにしてくださいよかった。

<p>授 業 名</p>	<p>緑のカーテン設置指導 「あさがおさん おおきくなあれ」</p>	
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立菅野小学校</p>	
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1 学年 3 学級 参加人数 9 8 名</p>	
<p>担当者</p>	<p>千村 真美</p>	
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成 2 8 年 5 月 2 7 日（金）</p>	
<p>講師名</p>	<p>松本市緑化協会 （株）奥原造園</p>	
<p>実施概要</p>	<p>生活科単元「あさがおさんおおきくなあれ」の一環として実施 ①花壇への支柱・ネットの設置 ②種まき・世話のしかたの指導</p>	
<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>「あさがおの種まき①」 種をわけていただき、 ワクワクしている1年生。 「ぼくのたねだ。」 「おおきくなってね。」</p>
	<p>「あさがおの種まき②」 わけていただいた種を 大事そうにそっとまく 1年生。 「おそわったとおりにそ っと」 「つちをかぶせるとわか んなくなっちゃうよ」 「はやくめがでるといい なあ」</p>	

実施状況
(授業風景)



「完成した
緑のカーテン①」

水やりをがんばって8月の夏休み明けにはカーテン状になりました。

「こんなにのびたんだ。すごいなあ」



「完成した
緑のカーテン②」

日陰の涼しさを感じながら花の叩き染めを楽しんだり種取りをしたりしました。

「すずしいね。」
「こなたねがとれた。」

記入者

千村 真美

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

・とても小さなあさがおの種から、小さな芽がでた時にはとてもうれしそうでした。さらに、どんどんと蔓が伸びていく様子や大きな葉を広げる様子には驚きも感じていました。一人一鉢で育てたあさがおと合わせ、押し花や花の叩き染め、種取りを楽しんだ子どもたちでしたが、カーテン状になってできた日陰の涼しさも感じ取ることができました。

2 先生方の感想、要望等

・教室前の全面に支柱やネットを設置するのは職員だけではなかなか難しいため、この事業で奥原造園さんに設置していただけてとてもありがたかった。

・緑のカーテンのおかげで、涼しく過ごすことができた。子どもたちも涼しさを実感できたようでよかった。

・もっと葉を生い茂らすことができたとは思いますが、夏休み中の水やりや追肥等の世話が十分にできなかった。効果的なノウハウを学びたい。

<p>授 業 名</p>	<p>身近な自然観察</p>
<p>実施学校名</p>	<p>松本市立今井小学校</p>
<p>実施学年、学級 参加人数</p>	<p>1年1組 27名 2年1組 30名</p>
<p>担当者</p>	<p>1学年担任 浦 嘉宏 2学年担任 塩原千史</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>平成28年10月27日（木）</p>
<p>講師名</p>	<p>自然観察の会 ひこばえ</p>
<p>実施概要</p>	<p>1 今井小学校の学習公園で、いろいろな植物や冬に向けて準備をしている昆虫について説明を受けたり、自分たちで探してきて集めたりして観察した。 2 木の実などの同じもの探しゲームなどをして遊んだ。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>学習公園にはどんなものがあるかな？</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>かえるなどの生き物も見つけたよ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>葉っぱにもいろんな種類があるよ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>この木の実は何だろう？</p> </div> </div>

授業について	記 入 者	1 学年担任 浦 嘉宏
	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな植物のことが知れてよかった。 ・学習公園にはいろいろな植物や昆虫がいることが分かって、今度、家の人と遊びに来ようと思った。 ・学習公園にある木の名前や特徴が知れてうれしかった。 ・講師の先生方が見つけておいてくださった木の実と同じ種類のものを探してくるネイチャーゲームでは、学習公園の中をいろいろと探して回って、新しい発見がたくさんあった。 ・男の子たちは、昆虫に興味が強く、昆虫探しに熱中していた。 ・自然の中を走り回り、とても生き生きとした姿が多く見られた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>2年生は昨年も実施してもらいましたが、学習公園の活用としては、とてもよい活動だと思います。今まであまり活用されていなかった学習公園でしたが、いろいろな植物や昆虫、動物について教えていただいたことで、子ども達も自分たちの学校の一部である学習公園についての関心も深まりました。木の種類やいろんな木の実の名前もわかってとても喜んでいました。学習公園を中心に少しずつ自然教育が広がってきていることを感じます。</p> <p>「ひこばえ」の方には、昨年と違った活動を考えていただき、2年生の子どもたちでも飽きることなく、活動することができました。今年は、PTAによる草刈の後でいろんな活動を考えるのが難しかったと思いますが、いろいろと工夫していただき、とてもありがたかったです。</p> <p>来年度もぜひ、お越しいただき、学習公園の魅力や自然についての学習を更に深めるきっかけをつくっていただきたいと思います。</p>	

授 業 名	体感プログラムを中心とした自然体験学習 「火おこし体験」
実施学校名	松本市立会田中学校
実施学年、学級 参加人数	1年1組 23名
担当者	担任 藤原賢志
実施日（期間）	平成28年7月22日（金）
講師名	信州やがいたいけん楽校ぶらす
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火おこし体験を行い、自分の力で火をおこす大変さと火の便利さ、怖さを学ぶ授業を行いました。 ・ 他に学有林をつかい、ネイチャーゲームを2種類行いました。「自然の宝探し」と「目隠し列車」を行い、自分の学校の敷地内で体験しました。 ・ クラスを3グループに分け、プログラムを実施しました。
実施状況 (授業風景)	 <p>二人一組で火おこし体験を行いました</p> <p>摩擦で火をおこす、歴史的に有名な方法で火おこしを行いました。すぐに火がつく生徒もいれば、苦戦する生徒もおり、全員が集中してとりくむ姿が見られました。</p> <p>自分たちでおこした日でマシュマロを焼いて食べました。</p>

実施状況
(授業風景)



学有林を利用したネイチャーゲーム

自分たちの学校の敷地内で、ネイチャーゲームを行いました。仲間づくり、クラスづくりのきっかけとなりました。

記入者

藤原 賢志

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・火がおきたときの喜びと、なかなか火がおきない悔しさを表情に浮かべ、クラス全員が取り組めた授業となりました。
- ・火おこしだけでなく、仲間づくりにもつながったネイチャーゲームにも熱中した姿が見られました。

2 先生方の感想、要望等

- ・自分の力で火をおこすことの難しさを体感することで、簡単に火をおこせることのありがたさと、火の怖さを知ることのできるきっかけになったと思います。
- ・ネイチャーゲームは、クラスの生徒が生き生きとした時間になりました。学校の敷地内でできたことで、学校の中でもこれだけの楽しいことができることが分かりました。参観日など、親子でも体験できたらおもしろいと感じました。

3 その他

- ・学有林の活用方法が一つ出来上がったと思います。普段は整備作業に追われ、なかなか利用することができませんでしたが、今回の体験からそのヒントをいただくことができました。

☆講師コメント☆

松本市小中学校環境教育支援事業を実施した講師の皆さんから、コメントをいただきました。



NPO法人わおん 山田直美

何も無いように見える川原でも、視点を変えてじっくり見ることで様々な植物を見つけられました。いつもとは違う視点で自然を楽しんでもらえたので良かったと思います。身の回りの身近な自然に関心を持つきっかけになれば嬉しいです。

また、川の学習の一環で導入のプログラムとして実施しましたので、今後の活動へのつながりに興味があります。

NPO安曇野ふるさとづくり応援団 宮崎崇徳

普段はあまりお米を食べないと言っていた子ども達が、ぬかくどで炊いたご飯で作ったおにぎりをとても美味しそうに食べる姿が印象的でした。

この体験をきっかけに、お米を食べることが田園を守ることに繋がっていることを学び、身近な環境に関心を持ってもらえれば嬉しく思います。

自然エネルギーネットまつもと 平島安人

今回で会田中学校での授業も3年目となり、講師役グループもだいぶ慣れて、時間を有効に使った授業ができるようになってきたと思う。毎回強く感じるのは、この授業にとって会田中は本当に恵まれた環境に立地しているということだ。学有林が隣接し、火を使える場所もある。そういった点からも、授業で紹介したことが、学校生活の中で日常的に継続して体験できるようになればよいと思う。

授業内容を一過性のものとしなないようにしたい。そのためにはどんなことができそうか、講師側としても宿題だと考えている。

いきものみっけファーム in 松本推進協議会 藤村哲

3クラスの児童と環境学習をさせていただきましたが、担任の教師の中にはあまり自然体験や環境学習を得意ではない方もいらっしゃったので、私たちのように日ごろからそこに関わる者が小学校に行って児童と触れ合うことは、子ども達の学びと気づきに資する可能性があるかかと僣越ながら感じました。

信州ツキノワグマ研究会 浜口あかり

奈川小学校におけるクマ授業について

これまで多くの小学校・中学校でクマに関する授業をさせていただいてきましたが、今回の奈川小学校は、これまでの中でも、特に高学年の子たちの積極的な様子が印象的でした。

事前打ち合わせの際には、周辺にあるたくさんの自然の素晴らしさを子どもたちに感じてもらいたいという先生たちの温かいお気持ちも聞かせていただき、今回の授業が少しでもそのお手伝いになればと身の引き締まる思いでした。

子どもたちも、自然と向き合っていくこととても前向きで、授業をさせていただいた立場としても、とても楽しい時間であり、勉強になった時間でした。

株式会社 環境技術センター 宮澤恵美

最近、「危険が伴うものはやらない」という方向に行きがちな気がしますが、多くの団体の方が、子どもたちのために工夫されているのを聞き私たちも大変参考になりましたし、勇気をもらいました。来年度も、ご協力できればと考えております。

自然観察の会 ひこばえ 村上さよ子

今年の学習林は下草が刈り取られ、一見、生き物（動物、植物）はどこ？ と見える所でしたが、様々なものが発見できる（刈り取られたクズのつるから昔から人が生活の中で利用していたこと―クズ粉、ひも代わり、リースーや、ヒマラヤスギの松ぼっくり、雌雄の花芽、花粉や、散乱している野鳥の羽はなぜ？など）ことや、人や他の生き物とのつながり―生物多様性につながる―を楽しみながらわかってもらえたのではと思います。2年生は昨年が続いてでしたが、私たち2人の講師も新発見が多々ありました。

パナソニック（株）エコソリューションズ社 川島宏志

5年生6名、6年生6名と、少人数であることから、児童一人ひとりの顔を見ながら授業を実施できました。

手回し発電機を使った実験では、一生懸命発電機を回すのが楽しそうに見えました。皆、真剣に授業に参加して、新しいことを知ろうという意欲も感じられました。

後半のシャープペンシルの芯を発光させる実験では、初めて見る実験への驚きが今後も記憶に残るのではないかと思います。

あかりの種類や特徴を知ることにより、エコへの関心を深め、宿題として実施したチャレンジシート（家での余分なあかりを消す）では、自分ができるエコ・省エネ活動が、身に付いたのではないかと考えております。

今後もあかりや太陽光発電をテーマとした出前授業を実施して、理科への興味と同時に環境への理解がより深まれば、と考えております。

信州やがいたいけん楽校ぷらす 降幡光幸

グループに分かれて、それぞれの体験をしてもらいました。

各グループとも最初は緊張感が感じられましたが、時間の経過と自然の中で学ぶことにより和んだ雰囲気になり、各自楽しそうに活動していました。

四賀の自然の豊かさ、学有林の存在や、自然に対する関心、エネルギーなど将来について関心が高まればと思います。

故郷の自然や、環境に関心を持ってもらえれば幸いです。

寿さと山くらぶ 鈴木喜一郎

担当した、バウムクーヘン作り、木工教室などの実施について感じたことは、まず担当した子どもたちの一生懸命な取り組み方でした。一人一人がおいしいバウムクーヘン作り。また素敵なペン立ての完成に向け、知恵を絞り、協力しながら作業している姿をサポートする老体の自分たちに、やりがいと達成感を感じさせてくれました。

また、特に感じたことは、どの学校でも担当してくれた先生方の、この事業にかける熱心な思いがあるということでした。打ち合わせの段階で先生方の熱い思いを感じることができました。その思いをどのように活動当日に子どもたちに伝えられるかを考えながら活動できるようにしました。

平成28年度
松本市小中学校環境教育支援事業
学習プログラム一覧



平成 28 年度 小中学校環境教育支援事業 講座一覧

No.	分類	講座名称	講師	頁
1	自然体験	1 自然を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングの引率	認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ	72
2	自然体験	1 自然と触れ合い感性を育てる活動 2 簡単な工作で道具が使えるようになる活動	NPO 法人わおん	73
3	自然体験 環境知識 生活力	1 梓川リバーアドベンチャー 2 地元の山が 100 倍好きになる登山学 3 アクティブ車椅子体験	合同会社リトルピークス	74
4	自然体験 環境知識	1 ぬかくご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング	NPO 安曇野ふるさとづくり応援団	75
5	自然体験 環境知識	1 いきもの探しと観察 2 プランター菜園講座 3 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ 4 田んぼの生き物と豊かな農地	いきものみつけファーム in 松本 推進協議会	76
6	自然体験 環境知識	ツキノワグマの生態を知ろう	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会	77
7	自然体験 環境知識	水辺の生物の観察会	川の自然と文化研究所 (NPO)	78
8	環境知識	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？	株式会社 環境技術センター	79
9	環境知識	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2 小水力発電機による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)	80
10	環境知識 生活力	マイ箸づくり	^{かな} 寿 鮑 の会	81
11	生活力	裁縫作業指導 (マイ箸収納袋制作)	松本市ボランティアセンター (松本市社会福祉協議会内)	82
12	環境知識 生活力	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 松本電材営業所	83
13	環境知識 生活力	生ごみ処理機を使用した堆肥作り	株式会社 キクイチ	84
14	環境知識 生活力	木の授業とバウムクーヘン作り	寿さと山くらぶ	85
15	環境知識 生活力	木材の活用法	松本市林業士会	86
16	環境知識 生活力	緑のカーテン設置指導 0	松本市緑化協会	87
17	自然体験 環境知識	1 身近な自然観察 2 水辺の自然観察・まちなかの自然観察 3 外来植物って何？	自然観察の会 ひこばえ	88
18	自然体験 生活力	体感プログラムを中心とした自然体験学習 1	体験創庫かけはし	89
19	自然体験 生活力	体感プログラムを中心とした自然体験学習 2	信州やがいたいけん楽校ぶらす	90
20	生活力	地球温暖化防止と木質バイオマスエネルギー 利用方法	自然エネルギーネットまつもと	91
21	自然体験 環境知識	水辺の観察会	特定非営利活動法人 えんどっこ	92
22	環境知識	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境政策課・環境保全課	93


学習プログラム 教科・領域との関連について

○ 講座ごとに、教科、領域を関連づけました。ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。

No.	講座名	関連する主な教科・領域							
		社会	理科	技術	家庭	生活	図画工作 美術	総合	特別活動
1	1 自然を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングの引率	○	○			○		○	○
2	1 自然と触れ合い感性を育てる活動 2 簡単な工作で道具が使えるようになる活動		○			○	○	○	○
3	1 梓川リバーウォーキング 2 地元の山が100倍好きになる登山学 3 アクティブ車椅子体験					○		○	○
4	1 ぬかどご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング	○			○			○	○
5	1 いきもの探しと観察 2 プランター菜園講座 3 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ 4 田んぼの生き物と豊かな農地	○	○					○	○
6	ツキノワグマの生態を知ろう	○	○			○		○	○
7	水の生物の観察会		○					○	○
8	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？	○	○			○		○	○
9	1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2 小水力発電機による自然エネルギー体験	○	○				○	○	○
10	マイ箸づくり			○		○	○	○	○
11	裁縫作業指導(マイ箸収納袋制作)				○	○		○	○
12	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室	○	○		○			○	○
13	生ごみ処理機を使用した堆肥作り	○	○		○			○	○
14	木の授業とバウムクーヘン作り		○					○	○
15	緑のカーテン設置事業	○	○			○		○	○
16	1 端材の工作 2 積み木で遊ぼう	○				○	○	○	○
17	自然観察からはじまる自然保護の実践	○	○			○		○	○
18	体感プログラムを中心とした自然体験学習1	○	○			○		○	○
19	体感プログラムを中心とした自然体験学習2		○		○	○		○	○
20	地球温暖化防止と木質バイオマスエネルギー利用方法	○						○	○
21	水辺の観察会		○			○		○	○
22	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本企画関連講座」	○	○		○	○		○	○

- 講師の選定、講座内容の作成に際して、一般社団法人長野県環境保全協会中信支部、松本商工会議所及び市民団体等の協力をいただいています。
- また、支援事業のコーディネートについて、中信地区環境教育ネットワークの協力をいただいています。

【分類：自然体験】

<p>講座名称</p>	<p>1 自然を皆と一緒に考えるプログラム 2 登山やハイキングなどの引率 (講座 No. 1)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>・こども自然体験教室 ・自然観察会（自然全般・植物・野鳥・昆虫など） ・野生生物や生物多様性に関する学習 ・自然観察会、自然体験の指導 美ヶ原、上高地、乗鞍高原、松本市アルプス公園など中信地区全域。（日程が合えば三城キャンプも対応可）</p> <p>プロジェクト・ワイルドのエデュケーター資格者が、学校の希望テーマに沿ったプログラムを提供します。学校でテーマを決めていない場合は、「温暖化」「鹿の食害」など、現地の実態に即したテーマでプログラムを提供します。 雨天の場合は屋内でプログラムを提供します。</p> 
<p>対象学年（年齢）</p>	<p>小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定</p>
<p>時間数</p>	<p>2 時間程度～1 日（宿泊があってもよい）</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども 15 人に対して講師 1 名 フィールドで行う場合は、子ども 10 人に対して講師 1～2 名</p>
<p>費用</p>	<p>講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎）</p>
<p>必要な準備</p>	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
<p>講師 連絡先</p>	<p>認定 NPO 法人信州まつもと山岳ガイド協会 やまたみ TEL 0263 -34-1543 E-mail info@yamatami.com 担当 石塚聡実 http://yamatami.com/</p>
<p>講師について</p>	<p>2005 年に設立された、長野県の山岳地帯を主たる活動場所とする NPO 法人です。登山ガイド・自然ガイドの資格者を軸に構成されています。信州の豊かな自然から人間と自然が共存する機能を理解し、そのあり方を考える事を目的としています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成 26 年度 会田中学校 ポレポレ講座 室内にてプロジェクト・ワイルド 波田松原分校 上高地ハイキングとプロジェクト・ワイルド</p> <p>平成 27 年度 開智小学校 鹿と環境との関わりについて学ぶワークショップ</p>
<p>申込み (直接申込可能)</p>	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）</p>
<p>問合せ</p>	<p>上記連絡先にお問合せください。</p>

【分類：自然体験】

講座名称	1 自然と触れ合い感性を育てる活動 2 簡単な工作で道具が使えるようになる活動 (講座 No. 2)
支援事業内容	<p>1 学校の校庭などの身近な自然で、自然と触れ合い感性を育てる活動</p> <p>2 自然の素材で作る簡単な工作で、道具が使えるようになる活動</p> <p>講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援。事前打ち合わせの中で、活動内容や狙いを確認。学校の希望に合わせたプログラムとする。（野外の活動を希望する場所があれば、そこで実施可能）</p> 
対象学年（年齢）	3歳～大人まで
時間数	1～2時間程度 (希望時間に応じたプログラムを実施することもできます)
講師人数	児童・生徒 20人に対して1人の講師 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します)
費用	講師謝礼 1人につき 5,000円（授業1回分毎） クラフトを実施する場合は、材料費（ひとり 100円～200円程度）
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	プログラムに使用する備品、工具など
講師連絡先	NPO 法人わおん TEL 0263-87-3005 E-mail waon@ac.auone-net.jp 担当 山田直美 http://waon.naganoblog.jp/
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している団体です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出前講座を行っています。
開催実績	会田小学校・田川小学校 学校の校庭でネイチャーゲームなどの自然体験活動
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：自然体験、環境知識、生活力】

講座名称	1 梓川リバーアドベンチャー 2 地元の山が100倍好きになる登山学 3 アクティブ車椅子体験 (講座 No. 3)
支援事業内容	1 梓川リバーアドベンチャー(川離れ防止大作戦！川の安全講習会付) 梓川の伏流水を歩き、泳ぎ、渡り、時にはライフジェットでプカプカ～目指すは大河犀川！フィールド「らーら松本から梓川・奈良井川合流部まで」 2 地元の山が100倍好きになる登山学(山歩きから学ぶ生きる力) メインフィールドは乗鞍岳、常念・蝶ヶ岳、鉢盛山。普段学校から見える地元の山を楽しみながら山歩き。児童&生徒主体の登山計画からお手伝いいたします。 3 アクティブ車椅子体験(新型車椅子を使い野山に飛び出そう) 今話題の新型車椅子補助器具「人力(ジンリキ)」を使用した新感覚障害者教育プログラム
対象学年(年齢)	小学校1年生より大人まで(プログラムによる)
時間数	最短1時間～泊まり込みプログラムまで対応可能
講師人数	プログラム1、2…子ども15人に対し、1人の指導者 プログラム3…子ども40人に対し、2人の指導者 ※いずれもプログラム内容、フィールドにより変動あり
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円(授業1回分毎) 保険料(34円～)、レンタル器材等(100円～)、プログラムによる
必要な準備	申込時、事前の打合せを通じて別途相談
講師連絡先	合同会社リトルピークス TEL 0263-93-1243 携帯 090-3561-5351 E-mail mine@littlepeaks.jp 担当 小峰邦良 http:只今準備中(メールでお問い合わせください！)
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	平成27年度 波田小学校(各講座とも2回実施) ・梓川リバーウォーキング「知ろう！遊ぼう！ふるさと波田」 ・梓川リバーウォーキング「海を守ろうプロジェクト」
申込み(直接申込可能)	直接講師(上記連絡先)にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。(実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	1 むかくどご飯炊き体験 2 地域発見ウォーキング (講座 No. 4)
支援事業内容	1 むかくどご飯炊き体験 昔ながらの「むかくど釜」でご飯を炊き、美味しいお米を味わっていただけます。「むかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」＝「もみ殻」を使った釜で、紙芝居にて概要を説明します。 ※3釜持参可能（おにぎり約70個/釜） 2 地域発見ウォーキング 安曇野市内の屋敷林、拾ヶ堰、道祖神等の原風景が残る地域を、クイズ等を楽しみながら案内します。
対象学年（年齢）	小学校3年生以上
時間数	2時間分程度
講師人数	子ども30人に対し2人の講師
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分） その他 お米代、資料代等 必要
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師連絡先	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団 TEL 0263-81-1325 E-mail lifeport@nifty.com 担当 宮崎崇徳 http://azumino-furusato.com/
講師について	地域の自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」を安曇野市内で開催し、平成25年度からはリメイク版「ふるさとさんぽ」もスタートしました。これまでに市内20ヶ所で開催した「ふるさとウォッチング」を「ふるさとウォッチングマップ」としてまとめ、平成26年10月から公式サイトで公開しています。
開催実績	平成27年度 会田中学校・二子小学校 むかくどご飯炊き体験
申込み (直接申込不可)	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	1 いきもの探しと観察 2 プランター菜園講座 3 精米工場の見学と、お米の作り方、流通、循環について学ぶ 4 田んぼの生き物と豊かな農地 (講座 No. 5)
支援事業内容	<p>年間を通じてお米の肌ヌカ（米の精）を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物づくりと生きものあふれる農地づくりを行い、その場所を環境学習に使用しています。</p> <p>作物を育てるもの、生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の目安です。精米工場の見学は年中できます。</p> 
対象学年（年齢）	小学校3年生以上
時間数	90分（相談に応じて対応可能）
講師人数	1、3、4は子ども30人に対し2人の講師 2は、子ども30人に対し1人の講師
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 2は、プランター、苗代、肥料代等別途実費がかかります。
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	米の精（肥料） 簡単な循環型農業に関する資料
講師連絡先	いきものみっけファーム in 松本推進協議会 TEL 0263-92-1508 E-mail ts_kakehashi@yahoo.co.jp 担当 藤村 http://www.ikimonomikke-farm.com/
講師について	環境を保全しつつ、有機循環型農業を地域で実現するために発足した、産・官・学・民協働の環境教育協議会です。お米の肌ヌカ（米の精）を使用した農法により土壌を豊かにし健康な作物づくりと生きものあふれる農地づくりを行い、その場所を環境学習に使用しています。
開催実績	いきものみっけファーム in 松本 （寿地区の田んぼで通年開催、市内全域から参加あり）
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう	(講座 No. 6)
支援事業内容	<p>講師を派遣し学校近隣（校内を含む）で行う学習支援</p> <p>パワーポイントを用いた講義（クマの生態、出会った時の対処法等）</p>	
対象学年（年齢）	全学年可	
時間数	1コマ（45分～90分）	
講師人数	子ども 100人に対して2人の講師	
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）	
必要な準備	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーン ・プロジェクター（できれば） 	
講師からのからの持込資材等	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン ・トランクキット（クマの毛皮、頭骨等）、クマの着ぐるみ 	
講師連絡先	<p>NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会 〒 390-0876 松本市開智2-9-8 TEL 0263-36-1884 E-mail:kumaken.shinshu@yahoo.co.jp 担当 浜口あかり http://www.geocities.jp/shinshukumaken/</p>	
講師について	ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を通し、“ツキノワグマ”とその生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現する。	
開催実績	<p>平成27年度 安曇小中学校 ツキノワグマの生態を知ろう 過年度 長野市の小中学校でのキャンプ事前授業の実施 ぼくらの学校での講義実施</p>	
申込み（直接申込可能）	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）</p>	
問合せ	上記連絡先にお問合せください	

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No. 7)
支援事業内容	<p>水辺の生物の観察会 水路・ビオトープ・学校プールなどにおける水生生物や植物の観察会を行います。</p> <p>【これまでに実施した学習会のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の川と水への意識 ・アルプスの水がもたらす恵みと課題 ・里地・里山の森と暮らしと水 ・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造 ・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について ・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割 ・トンボ類からみた日本と台湾の繋がり ・父親が子育てをするコオイムシ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について ・安曇野の魚と人とのかかわり 
対象学年（年齢）	小学校3年生以上（学年に合わせた授業を行います）
講師人数	子ども30人に講師1～2名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 開催内容による（事前の相談で決定）
必要な準備 学校で準備するもの	網、内面が白色のプラスチック皿、ピンセット 虫めがね（10～20倍）、バケツ、ノート（スケッチ用紙）
講師 連絡先	川の自然と文化研究所（NPO） TEL 0263-72-3768 E-mail tyoshid2002@yahoo.co.jp 担当 吉田利男
講師について	身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成り立ちを考え、今後の川の姿に関して提言するNPO法人です。
開催実績	平成26年度 田川小学校 川の生き物観察 平成27年度 田川小学校 水の生物の観察会
申込み （直接申込不可）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：環境知識】

講座名称	1 やさしい放射線の実験教室 2 水ってなあに？ (講座 No. 8)
支援事業内容	1 やさしい放射線の実験教室 放射線は自然に存在し、正しい管理のもとで利用されることで人の役に立つこと、また、原子力発電所事故を受けて、これからのエネルギーについて考えるきっかけになればと思います。普段目に見えない放射線の飛んだ軌跡を簡単に観察でき、簡単な測定器を使って外の放射線量やその場の放射線量を測定します。 2 水ってなあに？（水の性質と循環を学ぼう） 水が固体、液体、気体に変わること、海や川の水が蒸発して雲になり、雨となって地上に落ちてきてまた海に流れるという循環が、地球が誕生して何億年も前から繰り返され、これからも続いていくはず。だから、未来の人たちのためにも大切に、汚さないように使わなければならないことを実感できたらと思います。 また、4種類の水を用意して、きき水を体験してもらいます。日本の水とヨーロッパの水の味の違いを体験して、どうしてこの味の違いが出るのかを試験します。
対象学年（年齢）	小学校1年生～中学3年生まで学年に合わせて
時間数	2時間（ご相談ください）
講師人数	子ども40人に対し、講師2名
費用	講師謝礼 1人につき5,000円（授業1回分毎）
必要な準備	2 500mlのペットボトルを一人1本用意
講師からの持込資材等	1 やさしい放射線実験教室 放射線の軌跡観察の機材（タッパー、ランタンマンテル、エチルアルコール等）、放射線量測定器 2 水ってなあに？ 水の循環模型、ドライアイス、硬度試験キッド、水の汚れ試験キッド
講師連絡先	株式会社 環境技術センター TEL 0263-27-1606 E-mail miyazawa.m@kgcenter.co.jp 担当 宮澤恵美 http://www.kgc-minnanolab.com/
講師について	松本市内で40年間、環境分析を行ってきている会社です。環境問題がクローズアップされる昨今、理科実験と環境問題を組み合わせて、難しくとらえられがちな化学物質などを、わかりやすく解説したいと考えています。
開催実績	平成27年度 会田中学校 やさしい放射線実験教室 波田小学校 水ってなあに？（水の性質と循環を学ぼう）
申込み（直接申込可能）	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください




【分類：環境知識】

<p>講座名称</p>	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2 小水力発電機による自然エネルギー体験 (講座 No. 9)</p>
<p>支援事業内容</p>	<p>1 竹筒を自分たちで加工（切る穴あけ）して装飾し、蜜蝋を使ったキャンドル（大きさ 50cm 程度）を作ります。作ったキャンドルはキャンドルナイトイベント（6月：松本市美術館、12月：松本駅前）で大々的に飾り、イベントに華を添えていただきます。</p> <p>2 可搬式の小水力発電機を使って、実際の水力発電の仕組みを体験して学ぶほか、ソーラーカー、発電自転車体験を行います。</p> 
<p>対象学年（年齢）</p>	<p>小学校高学年～中学生</p>
<p>時間数</p>	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 2～3時間程度 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 1時間程度</p>
<p>講師人数</p>	<p>子ども 10 人に講師 1～2名</p>
<p>費用</p>	<p>講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎） 材料費 （開催内容による）</p>
<p>必要な準備</p>	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり ・実施場所として工作室 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 ・校内の流水（落差）がある箇所</p>
<p>講師からの持込資材等</p>	<p>1 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり ・電動ドリル、鋸、ホットボンド等の工具類 2 小水力発電機による自然エネルギー体験学習 ・可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車</p>
<p>講師連絡先</p>	<p>松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） TEL・FAX 0263-57-5460 担当 鈴木喜一郎</p>
<p>講師について</p>	<p>市内 10 団体で構成するネットワークです。それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドルナイトまつもと（6月、12月）」「打ち水大作戦（8月）」等の活動を行っています。</p>
<p>開催実績</p>	<p>平成 26 年度 芝沢小学校 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 平成 27 年度 会田中学校 竹筒と蜜蝋を使ったキャンドルづくり 美術館ワークショップ（毎年開催）</p>
<p>申込み（直接申込可能）</p>	<p>直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）</p>
<p>問合せ</p>	<p>上記連絡先にお問合せください</p>


【分類：環境知識、生活力】

講座名称	マイ箸づくり (講座 No.10)
支援事業内容	<p>自分で鉋、^{かな}鋸^{のこぎり}を使ってヒノキの端材から自分だけの箸を作ります。材木に関する基本的な知識についても学習し、モノを大切にする気持ちも養います。</p> 
対象学年（年齢）	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定
時間数	2時間～3時間必要
講師人数	子ども10人に対して講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料代 1人300円
必要な準備	鉋、鋸 その他、申込時・事前の打合せを通じて別途相談作業に適した会場（工作室等）
講師からの持込資材等	工作台（机上に設置）、肥後ナイフ、鉋
講師連絡先	寿鉋の会 TEL 090-1828-5282 鬼頭朝雄
講師について	毎週金曜日に寿福祉ひろばで刃物のとぎ方や日曜大工などを行っています。長年に渡り家具作り等に携わっていた職人たちが講師を務めています。
開催実績	平成27年度 会田中学校・梓川小学校・信州大学教育学部附属松本小学校
申込み (直接申込不可)	申込書を教育指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)



【分類：生活力】

講座名称	裁縫作業指導（マイ箸収納用袋の制作） （講座 No. 1 1）
支援事業内容	<p>マイ箸収納用袋の制作指導 マイ箸づくりで作った箸を収納するための袋を自作する際の指導講習を行います。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
対象学年（年齢）	小学校以上
時間数	2 時間程度必要
講師人数	子ども 10 人に講師 1 名
費用	講師謝礼 講師 1 名に 5,000 円（授業 1 回分毎） 材料費 制作内容によるため別途相談
必要な準備	裁縫セット、布等の材料
講師からの持込資材等	布等の材料
講師連絡先	松本市ボランティアセンター（松本市社会福祉協議会内） TEL 0263-25-7311 FAX 0263-27-2239 E-mail vol@syakyo.matsumoto.or.jp 担当 中村ひとみ
講師について	市内の地域ボランティア部会メンバーが、箸袋を自作する際の指導を行います。
開催実績	平成 27 年度 島立小学校・信州大学教育学部附属松本小学校
申込み（直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ecoconet@gominetnagano.jp）でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。（夕方 5 時以降）

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	1 あかりのエコ教室 2 エコと太陽光発電教室 (講座 No. 1 2)
支援事業内容	<p>地球温暖化による環境変化、地球温暖化防止に効果のある家電製品の省エネルギー化等について学習します。</p> <p>1 あかりのエコ教室 従来の白熱電球、電球型蛍光灯、LED電球の比較と実験を通じて違いを知る。省エネの効果の内容について学習する。</p> <p>2 エコと太陽光発電教室 一般的な発電方法と再生エネルギーの中で、太陽光を利用した発電方法の実験を通じ、太陽電池の性質の内容について学習する。</p> 
対象学年（年齢）	小学校4年生以上
時間数	2時限
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	無料
必要な準備	スクリーンもしくはモニターTV プロジェクター
講師からの持込資材等	・実験道具（4～5人で1台） ※あかりのエコ教室では測定機器、手回し発電機
講師連絡先	パナソニック(株)エコソリューションズ社 松本電材営業所 TEL 0263-27-4501 E-mail kasahara.m@jp.panasonic.com 担当 笠原正晴 http://panasonic.co.jp/es/
開催実績	平成23年 清水小学校6年、会田中学校1年 平成25年 会田中学校1年 平成27年 波田小学校6年
申込み (直接申込可能)	直接講師（上記連絡先）にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。（実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	生ごみ処理機を使用した堆肥作り (講座 No. 1 3)
支援事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機を使用した堆肥作りの講師を派遣し、指導等を行い、資源循環やバイオ（微生物の働き）について学んでいただきます。小型の生ごみ処理機をクラス単位・学年単位で貸し出すことが可能です。 ・処理機の使用方法や堆肥ができるまでの指導支援を行います。 ・完成した堆肥の使い方も指導します。 (1サイクル概ね3カ月で、できた1次堆肥を回収し、当社で2次堆肥に発酵させるため、臭いはあまり発生しません。県内の学校、保育園でも使用されています。)  
対象学年（年齢）	小学校高学年以上
時間数	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを投入する回の授業として、60～90分程度 ・その後、機械で堆肥にする期間＝約3ヶ月、キクイチで熟成堆肥にする期間＝約1ヶ月の合計4ヶ月で1サイクル
講師人数	機械1台あたり児童約40人（講師1名）
必要な費用	15,000円（材料費、機器管理、講師料込）
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談 実施時には生ごみ（野菜くず等）が必要
講師からの持込資材等	事前に生ごみ処理機を設置します (幅150cm×高120cm 要AC100V電源)
講師連絡先	株式会社キクイチ TEL 0263-92-5141 E-Mail kikuichi@go.tvm.ne.jp 担当 百瀬潔
開催実績	平成27年度 中山小学校 過年度 鎌田小学校・中山小学校
申込み (直接申込不可)	申込書を教育指導課の担当(教育文化センター)に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoeconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	木の授業とバウムクーヘン作り (講座 No.14)
支援事業内容	<p>竹や廃材などを活用して行う野外活動です。 木の年輪などの話をしてから、炭火を使って材料からバウムクーヘンを作ります。</p> 
対象学年（年齢）	小学校4年生以上
時間数	2時間程度
講師人数	子ども10人に講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 4,000円/約10人分
必要な準備	長机数台
講師からの持込資材等	レシピ等の資料、竹の棒などの資材、材料一式
講師連絡先	寿さと山くらぶ TEL・FAX 0263-57-5460 担当 鈴木喜一郎
講師について	平成13年に設立し、寿地区の財産区有林の整備作業と地域の学校での環境教育などを実施しています。昨年度の会員数65名。
開催実績	<p>平成26年度 会田中学校・高綱中学校 木の授業とバウムクーヘン作り 島立小学校 木の授業と鉛筆立て制作</p> <p>平成27年度 波田小学校・二子小学校・会田中学校 木の授業とバウムクーヘン作り 会田中学校 森林整備指導</p>
申込み (直接申込不可)	<p>申込書を学校指導課の担当(教育文化センター)に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)</p>
問合せ	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoeconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)</p>

【分類：環境知識、生活力】

講座名称	木材の活用法 (講座 No.15)
支援事業内容	<p>間伐による里山の保全、間伐材の活用について学習しながら、木工工作を行います。木の持つ魅力や種類の違いなどを五感で感じて、自ら創造する活動です。 また、山林での森林整備体験なども行います（応相談）</p> 
対象学年（年齢）	小学校4年生以上
時間数	2時間程度
講師人数	子ども6～8人に講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） 材料費 開催内容による（事前の相談で決定）
必要な準備	木工教室の場合、木工室等の会場
講師からの持込資材等	木工に必要な木材と機材一式
講師連絡先	松本市林業士会 TEL・FAX 0263-57-5460 担当 鈴木喜一郎
講師について	松本市内の現役林業士約20名で組織しています。それぞれが木と森のスペシャリストとして、市内各行事、地域イベント等にも参加しています。
開催実績	平成26年度 菅野小学校 平成27年度 鎌田小学校
申込み（直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当(教育文化センター)に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方5時以降)


【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	緑のカーテン設置指導 (講座 No.16)
支援事業内容	<p>低学年…紙芝居又はパワーポイントでカーテン設置の意味や効果、種の植え方、後の管理方法を解説します。(1時限) 高学年、中学生…希望によりますが、パワーポイントで地球温暖化の現状や将来を解説し、問題の意識付けをします。そのうえで、緑のカーテンの効用や維持管理の方法を解説します。</p> 
対象学年(年齢)	小学校以上(学年に合わせた授業を行います)
時間数	小学校低学年=1時限、小学校高学年以上=2時限(応相談)
講師人数	子ども120人に講師1名
費用	<p>講師謝礼 講師1名に5,000円(授業1回分毎) ※学年全体で同一日時に実施する場合、学級数分の合計を負担していただきます。 例：1学年全体の3学級で実施→@5000円×3学級分=15,000円</p>
必要な準備	<p>設置場所の確保 // の耕し、施肥 ※可能な限り地植えを推奨します。 プランターでは生育不足となり、期待する効果が得られません。 ※夏休み前までの生育を促すために、5月中の実施を推奨します。</p>
講師からの持込資材等	<p>・種子、苗 ・紙芝居、パワーポイントによる温暖化防止学習資料 ・ネット、竹枠 ※ ネット張り作業は事前に行います(別日程で行います)</p>
講師連絡先	<p>松本市緑化協会 TEL 0263-48-3100 E-mail oku-zou@avis.ne.jp (株)奥原造園 奥原正司</p>
講師について	松本市内で造園業を営む17業者の集まりです。緑化工事・維持管理を中心に、地域の環境保全を目指しています
開催実績	緑のカーテン設置補助 26年度=12校、27年度=12校
申込み(直接申込可能)	<p>直接講師(上記連絡先)にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。(実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)</p>
問合せ	上記連絡先にお問合せください

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	1 身近な自然観察（四季折々を楽しみながら） 2 水辺（小川）の自然観察・まちなかの自然観察 3 外来植物（外来生物）って何？ （講座 No. 1 7）
支援事業内容	自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や環境保全の考え方を学年に応じ、自然観察から学びとります。 教室でのレクチャーもあります。 
対象学年（年齢）	小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定
時間数	1回で2時間程度必要
講師人数	子ども15人に対して講師1名（先生と協力して1クラス程度まで）
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）
必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師連絡先	自然観察の会 ひこばえ TEL・FAX 0263-26-1573 担当 村上さよ子
講師について	1996年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始まる自然保護」を目ざして、自然観察会やボランティア活動などを実践。自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている
開催実績	平成26年度 今井小学校 身近な自然観察 平成27年度 今井小学校 自然観察からはじまる自然保護の実践
申込み （直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。 （夕方5時以降）


【分類：自然体験、生活力】

講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 1 (講座 No.18)
支援事業内容	<p>1 キャンプファイヤー指導法、グループワークレクリエーション 2 身近な自然を感じ取り、学習につなげる活動 3 野生生物について学ぶ～プロジェクトワイルド (体験型授業) 4 水について体験から学ぶ～プロジェクトウェット (体験型授業) 5 減災のための・エネルギー&ロープワーク講座 (体験型授業)</p> 
対象学年 (年齢)	小学校 1～2 年生：プロジェクトワイルド/ネイチャーゲーム 小学校 3 年生以上～中学校：上記含む提示したすべてのプログラム
時間数	基本は 2 時限分 (80～90 分) ～ 3 限分 (120 分) ※移動時間含まず遠隔地や校外学習などは別途相談
講師人数	児童・生徒 30 人に対して 2～3 人の講師
費用	講師謝礼 1 人につき 5,000 円 材料費等は別途 (内容により異なります)
必要な準備	プログラムの用具は一部準備しますが、まずは相談させてください。 材料 (消耗品) は学校 (または児童・生徒) で用意していただくこともあります。安全のため児童・生徒に事前に持ち物・服装を案内します (雨具・軍手など)
講師からの持込資材等	教本・教材など
講師連絡先	体験創庫かけはし TEL 0263 -92-1508 E-mail ts_kakehashi@yahoo.co.jp 担当 藤村
講師について	スタッフは自然体験活動指導者としての講習会を修了。(NEAL リーダー、文部科学省認定自然体験活動全体指導者) 他、CONE コーディネーター、トレーナー在籍。 ネイチャーゲーム、プロジェクトワイルド、プロジェクトウェットなど指導者として登録。 ※平成 27 年度までは、トゥマロウ・リーディング倶楽部 (TLC) として登録
開催実績	平成 27 年度 現地小学校 (TLC)
申込み (直接申込不可)	直接講師 (上記連絡先) にお申込みいただくことも可能です。 申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネーターを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。(実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoeconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。 (夕方 5 時以降)



【分類：自然体験、生活力】

講座名称	体感プログラムを中心とした自然体験学習 2 (講座 No. 1 9)
支援事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 火起こし教室～ハリギリ式、新聞を使わない方法、火の育て方等 2 燻製教室、保存食の知恵 (校内可) 3 カモフラージュ・同じモノ見つけ他ネイチャープログラム 4 木の実・木の葉当てクイズ 5 木育体験…森のかげらのお守り作り 6 その他地域体験、自然観察
対象学年 (年齢)	<p>小学校 1～2 年生：燻製教室、ネイチャーゲーム</p> <p>小学校 3 年生以上～：上記含む提示したすべてのプログラム</p>
時間数	<p>基本は 2 時限分 (80～90 分) ～ 3 限分 (120 分)</p> <p>※移動時間含まず遠隔地や校外学習などは別途相談</p>
講師人数	児童・生徒 30 人に対して 2～3 人の講師
費用	<p>講師謝礼 1 人につき 5,000 円</p> <p>材料費等は別途 (内容により異なります)</p>
必要な準備	プログラムの用具は一部準備しますが、まずは相談させてください。材料 (消耗品) は学校 (または児童・生徒) で用意していただくこともあります。安全のため児童・生徒に事前に持ち物・服装を案内します (雨具・軍手など)
講師からの持込資材等	火起こし用具のセット、燻製用具のセット、教本・教材など
講師連絡先	<p>信州やがいたいけん楽校ぶらす</p> <p>TEL 080-8041-7937 Fax 0263—87-2038</p> <p>E-mail furihata@yt-plus.com 担当 降幡</p>
講師について	<p>四賀地区中川の、廃校小学校 (旧中川小学校) 活用について、平成 25 年松本市が募集したプロポーザル事業へ応募を行い採択されました。平成 26 年 4 月より活動試行、①おもちゃの楽校①野外体験③チームビルディングを主とし、平成 27 年 4 月から運営を行っています。</p> <p>公民館、児童会の主催する自然体験学習プログラムの実施、小学校の総合学習支援参加、民間運営の DAY キャンプ支援等に参加しています。また、県内の野外体験活動団体等のネットワーク、信州外あそびネットワーク事務局として活動しています。</p> <p>※平成 27 年度までは、トゥマロウ・リーディング倶楽部 (TLC) として登録</p>
開催実績	平成 27 年度 現地小学校 (TLC)
申込み (直接申込不可)	<p>直接講師 (上記連絡先) にお申込みいただくことも可能です。</p> <p>申込書により講師への連絡を希望された場合は、支援事業のコーディネートをを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。(実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)</p>
問合せ	<p>学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール (ecoconet@gominetnagano.jp) でお問い合わせください。2～3 日中に電話またはメールでご連絡します。</p> <p>(夕方 5 時以降)</p>

【分類：環境知識・生活力】

講座名称	地球温暖化防止と木質バイオマスエネルギー利用方法（講座 No. 20）
支援事業内容	<p>○木質バイオマス活用の重要性についての説明と、活用方法の実演及び体験</p> <p>ロケットストーブやウッドガスストーブなどを使って、松ぼっくりや木の枝、竹などの木質バイオマスからエネルギーを取り出す体験をします。</p> 
対象学年（年齢）	小学5年生以上
時間数	2時間～3時間程度
講師人数	講座内容によります。別途相談
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎） その他材料等については別途相談
必要な準備	火を使っても大丈夫な場所の確保
講師からの持込資材等	体験用の機材一式
講師連絡先	自然エネルギーネットまつもと TEL 0266・52-0160 E-mail amadeus@minuet.plala.or.jp 担当 平島 安人 http://www.enet-matsumoto.net
講師について	2012年2月設立の任意団体です。地域の多様な主体と連携・対話を図りながら、地域資源を活用した協働による自然エネルギーの普及及び自然エネルギーを活用した持続可能な地域づくりに資することを目的として活動しています。
開催実績	平成26年度 会田中学校 木質バイオマス活用
申込み (直接申込可能)	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 (実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います)
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。（夕方5時以降）

【分類：自然体験、環境知識】

講座名称	水辺の観察会 (講座 No. 21)
支援事業内容	<p>○水辺の生物観察の指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物かを解説します。 ・水生生物の生息状況と、透視度やCODなどの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。  
対象学年（年齢）	小学校1年生～6年生（学年に合わせた授業を行います）
時間数	1～1.5時間
講師人数	子ども20人に講師1名
費用	講師謝礼 講師1名に5,000円（授業1回分毎）
必要な準備	水辺観察会の手引書（カラーコピーでも可）
講師からの持込資材等	バケツ、バット、手網、透視度計、他
講師連絡先	特定非営利活動法人 えんどっこ TEL 0263-92-6080 E-mail ootsuki@endotuko.com 担当 大月健二 http://endotuko.com/
講師について	水辺の自然環境の調査、環境学習、国際協力を実施する団体で主に梓川や松本地域で活動しています。
開催実績	梓川での水辺学習会 田んぼでの生きもの観察会
申込み（直接申込不可）	申込書を学校指導課の担当（教育文化センター）に提出してください。 申込書の提出を受けて、支援事業のコーディネートを行っている中信地区環境教育ネットワークから後日学校に連絡します。 （実施内容の確認と今後の打合せ日程等の調整を行います）
問合せ	学校名、担当の先生の名前、内容等を書いて、中信地区環境教育ネットワーク事務局までメール（ ecoconet@gominetnagano.jp ）でお問い合わせください。2～3日中に電話またはメールでご連絡します。（夕方5時以降）

【分類：環境知識】

講座名称	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」 (講座 No. 2 2)
支援事業内容	<p>松本市民である私たちが取り組むべき5つの柱について、パワーポイント等を使って学習し、自分たちになにができるのか、一緒に考えます。</p> <p>学習内容は、以下の1～5の中から組み合わせが可能です。(要相談)</p> <p><5つの柱プログラム></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球にやさしく 地球温暖化を防ぐために一人ひとりが節電や省エネに取り組むことの重要性を学びます。 2. 資源を大切に “もったいない”をキーワードとした3Rの取組みやごみの現状、わたしたちにできることなどについて学びます。 3. 安心・安全な暮らし 松本市の騒音や水などの環境の状況や、私たちの行動がどのように環境に影響をあたえるのかを、実際の騒音計等を使って学びます。 4. 自然のめぐみ 生きものあふれる松本プラン「生物多様性」について、わかりやすく学びます。 5. 心地よいまち 身近にある心地よいかおりや音、花いっぱい運動を通じて、地域で自慢できる環境について学びます。
対象学年(年齢)	4年生以上
時間数	1時限
講師人数	講師1～2名
費用	無料
必要な準備	電源の確保
講師からの持込資材等	プロジェクター・スクリーン等
講師連絡先	松本市環境政策課 TEL 0263-34-3268 E-mail s-kankyo@city.matsumoto.nagano.jp
講師について	松本市環境政策課、環境保全課の職員が伺います。
申込み(直接申込可能)	直接講師(上記連絡先にお申込みください)
問合せ	上記連絡先にお問い合わせください。



☆環境学習の活動内容や支援する団体等が検索できるWEBサイト☆

中信地区環境教育ネットワークによる

信州の環境学習サポートサイト

がオープンしました!!

どんな環境学習プログラムがあるのかな？
どんな活動をしているのかな？
ぜひ、ご活用ください！



信州の環境学習サポートサイトの目的

- 環境学習の実践例を示し、環境学習の面白さや効果を伝えます。
- 中信地域の学校や地域で環境学習が実施できるよう支援団体や窓口を紹介します。
- 良質な環境学習の体験プログラムを紹介します。
- 環境学習が未来の希望となるよう、関係者が協力して環境体験学習の内容の向上と学習提供システムの整備に努めます。

作成／運営 中信地区環境教育ネットワーク

URL: <http://www.econoschool.org/>

信州の環境学習

検索



【附録】松本市環境政策課からのお知らせ



1 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加について

○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、年会費・登録料無料の全国ネットワークです。幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。

○こどもエコクラブって何をするの？

子どもたちの興味や関心に基づいて、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みます。

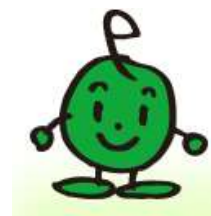
○こどもエコクラブのかたち

こどもエコクラブは、仲間が集まれば、どんな形態でも、こどもエコクラブとして活動をはじめることができます。登録は1名から、クラブ・学級単位での参加も可能です。

○登録すると・・・

【活動に役立つツールがもらえます】

活動に役立つ「メンバー手帳」が届きます。また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



【活動をサポート】

* 専門家からコメントが届きます。

ウェブサイトから活動報告をすると、専門家から、これからの活動に役立つコメントが届きます。

* 活動報告をするとアーススタンプがもらえます。

5つ以上アーススタンプを集めると「アースレンジャー認定証」が、もらえます。

○活動をはじめするには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができます。または環境政策課担当までご連絡ください。

※ はじめようこどもエコクラブ

<http://www.j-ecoclub.jp/guide/index.html>

※ 平成28年12月末現在 登録クラブ数1,946、メンバー数112,486人

※ 現在は公益財団法人日本環境協会が事業を引き継ぎ、実施しています。

2 食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」 ロゴマーク「ろすのん」について



「ろすのん」ってなに？

- ・真ん中の●は、お皿をイメージ（食品ロス問題を訴える）
- ・下の二本線「＝」は、お箸をイメージ
- ・右目の涙は「もったいない」感情を表現

わが国では、本来食べられるのに廃棄されている「食品ロス」が年間632～800万トン発生しています。「もったいない」という言葉の発祥地である国として、官民が連携して食品ロス削減国民運動「NO-FOODLOSS プロジェクト」を展開しています。

松本市も、このプロジェクトに協力し、食品ロスの削減を推進しています。

食品ロスの約半分は家庭から発生しています。

ぜひ、食品ロスの問題に関心を持ち、その削減にご協力ください。

平成28年度
松本市小中学校
環境教育支援事業
報告書

発行 松本市
〒390-8620
松本市丸の内3番7号
電話 0263-34-3000 内線 1443
E-mail
kankyo_kyoiku@city.matsumoto.nagano.jp

編集 松本市 環境部 環境政策課
松本市教育委員会 学校指導課
協力 中信地区環境教育ネットワーク
印刷 庁内印刷



製材体験



火おこし体験



梓川リバーアドベンチャー



水辺の生物観察会